



Cisco Unified IP Phone ユーザ ガイド for Cisco Unified Communications Manager 8.6 (SCCP および SIP)

**Cisco Unified IP Phone User Guide for Cisco Unified
Communications Manager 8.6 (SCCP and SIP)**

Cisco Unified IP Phone 7962G、7942G、7961G、7961G-GE、
7941G、および 7941G-GE

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ
デートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合があ
りますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊
社担当者にご確認ください。

一般的な電話の操作

電話機でオンラインヘルプを表示する	 を押します。
コールを発信する	ハンドセットを持ち上げるか、スピーカフォンまたはヘッドセットを押します。
番号をリダイヤルする	[リダイヤル (Redial)] を押します。または、オンフックにしてナビゲーションボタンを押し、発信履歴ログを確認します。
コール中にハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます。
コール中に、スピーカまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
電話機をミュートにする	 を押します。
履歴を使用する	 を押し、履歴を選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示し、オフフックにします。
番号を編集する	[編集 (EditDial)]、[<<] または [>>] を押します。
コールを保留 / 復帰する	[保留 (Hold)] または [復帰 (Resume)] を押します。
コールを新しい番号に転送する	[転送 (Transfer)] を押し、番号を入力してから、[転送 (Transfer)] をもう一度押します。
インターコム コールを発信する	インターコムボタンを押し、必要に応じて番号を入力します。トーン音が聞こえたら、通話を開始します。
標準の (アドホック) 会議コールを開催する	[次へ (more)] > [会議 (Confrm)] を押し、参加者にダイヤルしてから、再び [会議 (Confrm)] を押します。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS 含む)
電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

© 2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Copyright © 2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

OL-22333-01-J



クイック リファレンス



Cisco Unified IP Phone ユーザ ガイド for Cisco Unified Communications Manager 8.6 (SCCP および SIP)

Cisco Unified IP Phone User Guide for
Cisco Unified Communications Manager
8.6 (SCCP and SIP)

Cisco Unified IP Phone 7962G、7942G、
7961G、7961G-GE、7941G、および
7941G-GE

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考と訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考と訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

「ソフトキーの機能」
「電話スクリーンのアイコン」
「ボタン アイコン」
「一般的な電話の操作」

ソフトキーの機能

短縮 (AbbrDial)	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答 (Answer)	通話に応答する
戻る (Back)	前のヘルプの項目に戻る
割込み (Barge)	共有回線のコールに参加する
折返し (CallBack)	話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する 変更内容を適用せずに、操作をキャンセルするか画面を終了する
キャンセル (Cancel)	共有回線のコールに参加し、会議を開催する
C 割込 (cBarge)	コール転送を設定またはキャンセルする
不在 (CFwDALL)	レコードまたは設定を削除する
クリア (Clear)	現在のウィンドウを閉じる
閉じる (Close)	会議の参加者を表示する
参加者 (ConfList)	会議コールを開始する
会議 (Confrn)	[編集 (EditDial)] を使用しているときに、カーソルの右側にある文字を削除する
削除 (Delete)	不在履歴および着信履歴内の複数のコールに関する詳細レコードを開く
詳細 (Details)	電話番号にダイヤルする
ダイヤル (Dial)	[サイレント (Do Not Disturb)] (DND) をオンまたはオフにする
サイレント (DND)	履歴の電話番号を編集する
編集 (EditDial)	現在のコールまたは現在のインターコム コールを切断する
終了 (EndCall)	

削除 (Erase)	設定をデフォルトにリセットする
終了 (Exit)	前の画面に戻る
G ピック (GPickUp)	他のグループまたは別の回線で呼び出し中のコールに応答する
即転送 (iDivert)	コールをボイス メッセージ システムに即転送またはリダイレクトする
参加 (Join)	既存のコールを結合して会議を開催する
リンク (Links)	関連のあるヘルプの項目を表示する
メイン (Main)	[ヘルプ (Help)] メイン メニューを表示する
ミーティング (MeetMe)	ミーティング会議コールを開催する
次へ (more)	その他のソフトキーを表示する
発信 (New Call)	新しいコールを発信する
他 Grp (OPickUp)	関連付けられているグループで呼び出し中のコールに応答する
パーク (Park)	コールパークを使用してコールを保存する
ピック (PickUp)	グループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答する
品質 (QRT)	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
リダイヤル (Redial)	最後にダイヤルした電話番号に再度ダイヤルする
削除 (Remove)	会議参加者を削除する
保留解除 (Resume)	保留中のコールを再開する
ドロップ (RmLstC)	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
保存 (Save)	選択した設定を保存する
検索 (Search)	ディレクトリのリストを検索する
選択 (Select)	メニュー項目またはコールを選択する
転送 (Transfer)	コールを転送する
更新 (Update)	コンテンツを更新する
ビデオ (VidMode) (SCCP のみ)	ビデオ表示モードを選択する

<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字を移動する

電話スクリーンのアイコン

	コール転送が有効
	保留されているコール
	
	接続中のコール
	コールの着信
	オフフック
	オンフック
	使用中の共有回線
	メッセージ受信
	認証されたコール
	暗号化されたコール
	BLF でモニタされた回線が使用中
	BLF でモニタされた回線がアイドル状態
	BLF でモニタされた回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)
	スピードダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト (回線ステータス不明)
	サイレント状態の回線 (BLF 機能)
	アイドル状態のインターコム回線
	一方向のインターコム コール
	双方向のインターコム コール
	ハンドセットを使用中

	ヘッドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中
	ビデオが有効 (SCCP のみ)
	機能が割り当て済みのボタン
	モビリティが割り当て済みのボタン
	保留が割り当て済みのボタン
	会議が割り当て済みのボタン
	転送が割り当て済みのボタン
	電話機サービス URL が割り当て済みのボタン
	履歴の URL エントリが編集可能 (SIP だけ)
	選択されたオプション
	機能が有効

ボタン アイコン

	メッセージ
	サービス
	ヘルプ
	ディレクトリ
	設定
	音量
	スピーカー
	ミュート
	ヘッドセット

Contents

はじめに	9
このガイドの使用方法	9
追加情報の入手	10
Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e- ラーニング チュートリアルへのアクセス	10
安全および使用に関する情報	10
シスコ製品のセキュリティ	11
アクセシビリティ機能	11
電話機の接続	13
電話機の概要	17
ボタンとハードウェアについて	17
回線とコールについて	22
回線とコールのアイコンについて	22
電話スクリーンの機能について	23
電話スクリーンのクリーニング	25
機能ボタンおよびメニューについて	25
電話機のヘルプ システムの使用	26
機能のアベイラビリティについて	26
SIP および SCCP について	28
省電力について	28
基本的なコール処理	29
コールの発信：基本的なオプション	29
コールの発信：その他のオプション	30
コールへの応答	33
コールの終了	34
コールの保留と復帰	35

ミュートの使用	36
複数のコール間での切り替え	36
進行中のコールの他の電話機への切り替え	37
複数のコールの表示	38
コールの転送	38
ボイス メッセージ システムへのコールの送信	39
別の電話番号へのコールの転送	40
サイレントの使用	41
会議コールの使用方法	43
会議の各機能の使用方法	43
会議機能の使用方法	43
参加機能の使用方法	44
C 割り込みの使用方法	45
ミーティングの使用方法	45
会議参加者の表示または削除	46
インターコム コールの発信と受信	47
応用的なコール処理	49
短縮ダイヤル	49
自分の電話機で他の電話機の着信に应答	50
パークされているコールの保存と取得	52
ハント グループからのログアウト	53
共有回線の使用	53
共有回線について	54
割り込みの使用による共有回線のコールへの参加	54
割り込み機能について	54
割り込み機能の使用方法	55
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	56
BLF の使用による回線の状態の確認	57
安全なコールの送受信	58
不審なコールのトレース	61
重要なコールの優先順位付け	61
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	63

1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理	64
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	67
ハンドセットの使用	67
ヘッドセットの使用	67
スピーカフォンの使用	69
ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用	69
電話機の設定の変更方法	71
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	71
電話スクリーンのカスタマイズ	73
履歴およびディレクトリの使用方法	75
履歴の使用法	75
ディレクトリ ダイヤリング	79
電話機での社内ディレクトリの使用方法	79
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法	80
ボイス メッセージへのアクセス	85
ユーザ オプション Web ページの使用	87
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	87
Web での機能およびサービスの設定	88
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	88
Web での個人アドレス帳の使用法	89
Web でのファスト ダイアルの設定	90
アドレス帳同期ツールの使用法	91
Web でのスピード ダイアルの設定	92
Web での電話機サービスの設定	93
Web でのユーザ設定の制御	95
Web での回線設定の制御	96
モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定	98
Cisco WebDialer の使用法	100

その他の設定オプションについて	103
電話機のトラブルシューティング	105
一般的なトラブルシューティング	105
電話機の管理データの表示	107
品質レポート ツールの使用	107
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	109
Index	111

はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	必要な操作
電話機について調べる	不明な点があるときは、  を押してください。
安全情報を参照する	「安全および使用に関する情報」 (P.10) を参照してください。
電話機を接続する	「電話機の接続」 (P.13) を参照してください。
設置後に電話機を使用する	「電話機の概要」 (P.17) を参照してください。
ボタン ライトの意味を調べる	「ボタンとハードウェアについて」 (P.17) を参照してください。
電話スクリーンについて調べる	「回線とコールについて」 (P.22) を参照してください。
コールを発信する	「コールの発信：基本的なオプション」 (P.29) を参照してください。
コールを保留にする	「コールの保留と復帰」 (P.35) を参照してください。
ミュートにする	「ミュートの使用」 (P.36) を参照してください。
コールを転送する	「コールの転送」 (P.38) を参照してください。
会議コールを発信する	「会議コールの使用方法」 (P.43) を参照してください。
スピード ダイアルを設定する	「短縮ダイヤル」 (P.49) を参照してください。
電話番号を共有する	「共有回線の使用」 (P.53) を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」 (P.67) を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	「電話機の設定の変更方法」 (P.71) を参照してください。
不在履歴を表示する	「履歴およびディレクトリの使用方法」 (P.75) を参照してください。
ボイス メッセージを聞く	「ボイス メッセージへのアクセス」 (P.85) を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を確認する	このガイドの冒頭のクイック リファレンス カードを参照してください。

追加情報の入手

WWW 上の次の URL から、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

シスコの Web サイトへは、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/>

最新のライセンス情報については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニングチュートリアルへのアクセス

(SCCP 電話のみ)。

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニング チュートリアルでは、音声とアニメーションにより基本的なコール機能が説明されています。いくつかの電話機では、お使いの PC から e-ラーニング チュートリアルにオンラインでアクセスできます。お使いの電話機のモデルの e-ラーニング チュートリアル（英語のみ）を探すには、次の場所でマニュアルの一覧を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html



(注) ご使用の Cisco Unified IP Phone の e-ラーニング チュートリアルが用意されていない場合がありますが、Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニング チュートリアルを参照すると、どの Cisco Unified IP Phone にも共通する機能の概要を学ぶことができます。

安全および使用に関する情報

停電およびその他のデバイスの Cisco Unified IP Phone への影響については、この項を参照してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービス ダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用および緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス（ヘッドセットなど）の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタの品質を制御できないため、システム パフォーマンスを保証できません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステム パフォーマンスを得られます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive (89/336/EC) に完全に準拠した外部スピーカー、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

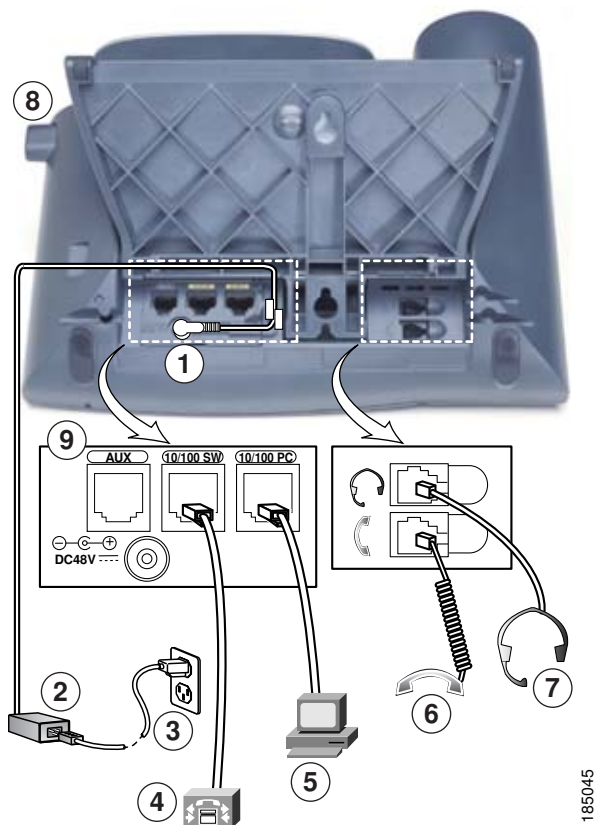
アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。シスコのアクセシビリティ機能の詳細については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

電話機の接続

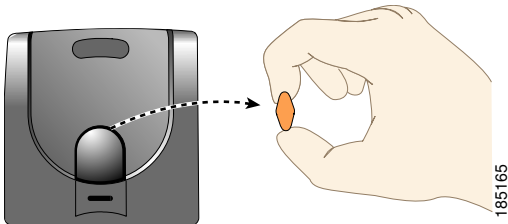
通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図および表を参照して、電話機を接続してください。



1	DC アダプタ ポート	6	受話器ポート
2	AC-DC 電源装置	7	ヘッドセット ポート
3	AC 電源コード	8	フットスタンド ボタン
4	ネットワーク ポート	9	補助ポート
5	アクセス ポート		

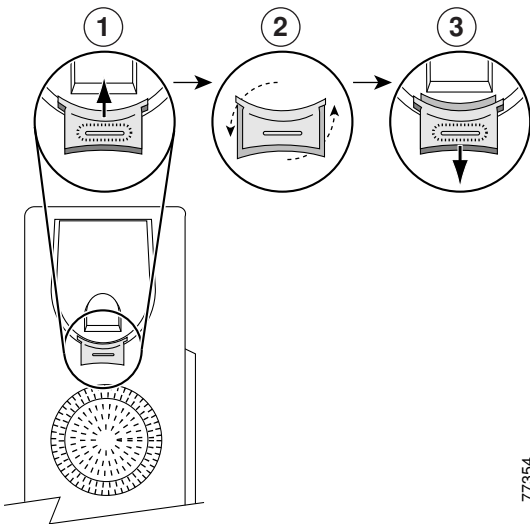
フックスイッチ クリップの取り外し（必須）

電話機には、フックスイッチを固定するクリップが付いている場合があります。その場合は、電話機を使用する前に、受け台からフックスイッチクリップを取り外してください。クリップが取り外されていると、ハンドセットを取り上げたときにフックスイッチがわずかに上がります。



ハンドセット受け台の調節（オプション）

特に電話機を壁に取り付ける場合は、ハンドセット受け台を調整することをお勧めします。この調整によって、受信機が受け台から容易に滑り落ちることがないようにするためです。次の表に手順を示します。



1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回転させます。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回転させたタブの上部の拡張部がはみ出た状態になります。ハンドセットをハンドセット レストに戻します。

フットスタンドの調節（オプション）

電話機本体の角度を変更するには、フットスタンド ボタンを押しながらフットスタンドを調節します。

TAPS を使用した登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS; 内線番号自動登録システム) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、電話機を新たに導入する場合にも、既存の電話機を入れ替える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットの使用

Cisco Unified IP Phone では、有線ヘッドセットを使用できます。Cisco Unified IP Phone 7962G または 7942G では、ワイヤレス ヘッドセット リモート フックスイッチ コントロール機能と組み合わせることにより、ワイヤレス ヘッドセットを使用できます。

ヘッドセットについて

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内では若干のテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていない。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮断されるヘッドセットなど高品質の外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。

またハム音が、相手方だけに聞こえる場合もあれば、Cisco IP Phone のユーザおよび相手方の両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。詳細については、「[外部デバイスの使用方法](#)」(P.11) を参照してください。



(注) 場合によっては、ハム雑音は、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。

このように、Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する可能性があるため、すべての環境に適した単一のヘッドセットは存在しません。

ヘッドセットを選定して環境に多数展開する前に、実際の環境での使用に最適かどうかをテストすることを推奨します。

オーディオの品質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的な性能以上に、ヘッドセットの音質がユーザと通話相手の双方にとって良質である必要があります。音質の判断は主観によるため、シスコが特定のヘッドセットのパフォーマンスを保証することは不可能です。ただし、主要なヘッドセット製造業者製のさまざまなヘッドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。詳細については、ヘッドセットの製造業者にお問い合わせください。

Cisco Unified IP Phone 7962G または 7942G の場合：お使いの電話機のワイヤレス ヘッドセット リモート フックスイッチ コントロール機能に適合するワイヤレス ヘッドセットの情報については、次の URL にアクセスしてください。 <http://www.cisco.com/pcgi-bin/ctdp/Search.pl>

1. [Enter Solution] メニューで [IP Communications] を選択します。[Select a Solution Category] メニューが表示されます。
2. [IP Phone Headsets] を選択して、テクノロジー開発プログラム パートナーのリストを表示します。特定のテクノロジー開発プログラム パートナーを検索する場合は、[Enter Company Name] ボックスにパートナー名を入力してください。

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone は、コンピュータで使用するデータ ネットワークを介して音声通信を行うためのすべての機能を搭載した電話機であり、電話機のコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンおよび各部の名前と説明を次の図および表に示します。

Cisco Unified IP Phone 7962G



187005

Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE



186845

Cisco Unified IP Phone 7942G



Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE



項目	説明	参照先または問い合わせ先
1 プログラマブル ボタン 	設定に応じて、プログラマブル ボタンからは次にアクセスできます。 - 電話回線（回線ボタン）とインターコム回線 - スピード ダイヤルの番号（BLF スピード ダイヤルを含む、スピード ダイヤルボタン） - Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど） - コール機能（プライバシー、保留、転送のボタンなど） 表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。  緑、点灯：アクティブ コールまたは双方向のインターコム コール  緑、点滅：保留中のコール  オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコム コール、サイレントがアクティブ、またはハント グループにログイン中です。  オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール  赤、点灯：リモート回線が使用中（共有回線、BLF の状態またはアクティブなモバイル コネクトコール）	「回線とコールについて」(P.22) 「基本的なコール処理」(P.29) 「短縮ダイヤル」(P.49) 「共有回線の使用」(P.53) 「BLF の使用による回線の状態の確認」(P.57) 「インターコム コールの発信と受信」(P.47)
2	電話スクリーン	コール機能を表示します。 「 電話スクリーンの機能について 」(P.23)
3	フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節できます。 「 フットスタンドの調節（オプション） 」(P.15)
4	メッセージ ボタン 	ボイス メッセージサービスを自動的にダイヤルします（システムによって異なります）。 「 ボイス メッセージへのアクセス 」(P.85)
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ (Directories)] メニューを開閉します。このボタンを使用して、コール ログおよびディレクトリにアクセスします。 「 履歴の使用方法 」(P.75)

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
6	ヘルプ ボタン 	[ヘルプ (Help)] メニューをアクティブにします。	「電話機のヘルプ システムの使用」 (P.26)
7	設定ボタン 	[設定 (Settings)] メニューを開閉します。電話機スクリーンのコントラストおよび呼出音の設定を変更するために使用します。	「電話機の設定の変更方法」 (P.71)
8	サービス ボタン 	サービス メニューを開閉します。	「ユーザ オプション Web ページの使用」 (P.87)
9	音量ボタン 	受話器、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）および呼出音の音量（オンフック）を制御します。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」 (P.67)
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォン モードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」 (P.67)
11	ミュート ボタン 	マイクロフォン モードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。	「ミュートの使用」 (P.36)
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセット モードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」 (P.67)
13	ナビゲーション ボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用できます。電話機がオンフックのとき、発信履歴ログに含まれる電話番号を表示します。	「履歴の使用方法」 (P.75)
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用できます。	「基本的なコール処理」 (P.29)
15	ソフトキー ボタン 	各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	「電話スクリーンの機能について」 (P.23)
16	ハンドセットのライストリップ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	「ボイス メッセージへのアクセス」 (P.85)

回線とコールについて

回線とコールは、混同しやすい用語です。

- 回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。お使いの電話機は最大 6 回線までサポートします。サポートされる回線数は電話機および設定によって異なります。電話機に割り当てられた回線の数、電話スクリーンの右側で確認します。回線数は、電話番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- コール：1 本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は 1 本の回線につき 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。ある時点では 1 コールだけがアクティブになることができ、他のコールは自動的に保留になります。

回線とコールのアイコンについて

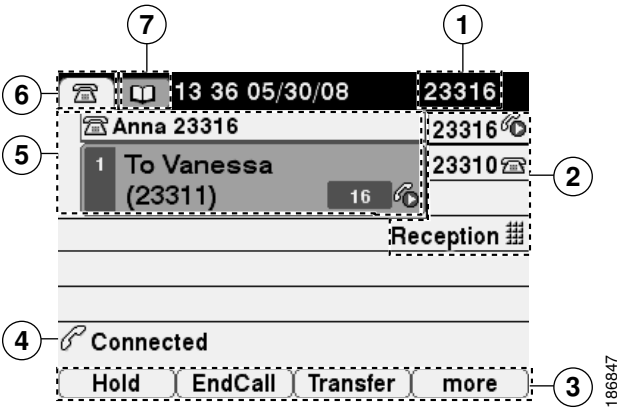
電話機には、コールと回線の状態の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続中のコール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	保留されているコール	コールが保留されています。「 コールの保留と復帰 」(P.35)を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。詳細については、「 共有回線の使用 」(P.53)を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。「 コールの保留と復帰 」(P.35)を参照してください。
	認証されたコール	「 安全なコールの送受信 」(P.58)を参照してください。
	暗号化されたコール	「 安全なコールの送受信 」(P.58)を参照してください。
	BLF でモニタされた回線がアイドル状態	「 BLF の使用による回線の状態の確認 」(P.57)を参照してください。
	BLF でモニタされた回線が使用中	「 BLF の使用による回線の状態の確認 」(P.57)を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	BLF でモニタされた回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)	「 BLF の使用による回線の状態の確認 」 (P.57) を参照してください。
	サイレント状態の回線 (BLF 機能)	「 BLF の使用による回線の状態の確認 」 (P.57) を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用されていません。「 インターコム コールの発信と受信 」 (P.47) を参照してください。
	一方向のインターコムコール	インターコム回線が一方向のオーディオを送信中または受信中です。「 インターコム コールの発信と受信 」 (P.47) を参照してください。
	双方向のインターコムコール	インターコム発信者との双方向オーディオをアクティブにするには、インターコム回線を押します。「 インターコム コールの発信と受信 」 (P.47) を参照してください。

電話スクリーンの機能について

次に、アクティブ コールが発生しているときのメイン電話スクリーンの図を示します。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。複数の機能タブが開いている場合は、電話番号、時刻、日付もここに表示されます。
2	プログラマブル ボタン	電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、スピードダイヤル ボタン、電話機サービス ボタン、電話機の機能ボタンとして機能します。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。アイコンのリファレンスについては、「 電話スクリーンのアイコン 」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	対応するソフトキー ボタン  のソフトキー機能が表示されます。
4	ステータス行	オーディオ モードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コール アクティビティ領域	発信者 ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。「 回線とコールについて 」(P.22) および 「 複数のコールの表示 」(P.38) を参照してください。
6	電話タブ	コール アクティビティを示します。
7	機能タブ	開いている機能メニューを示します。「 機能ボタンおよびメニューについて 」(P.25) を参照してください。



(注) 電話機のメッセージ、ディレクトリ、およびサービスの各スクリーンは、電話機がどのように設定されているかに応じて、通常モードで表示されることも、ワイドモードで表示されることもあります。ワイドモードの電話機ウィンドウは、電話スクリーンの幅全体に表示されず。ただし、ユーザも管理者も電話スクリーンの表示モードを調整することはできません。

電話スクリーンのクリーニング

電話スクリーンを拭く場合は、乾いた柔らかい布だけを使用してください。液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

電話機が省電力モードになっているときは、タッチスクリーンは空白で、ディスプレイ ボタンは点灯しません。電話機がこの状態のときはスクリーンをクリーニングできますが、クリーニングを終了するまで電話機のスリープ状態が続くことがわかっている場合に限りです。クリーニング中に電話機を復帰させる可能性がある場合は、復帰した状態になるのを待ってから、前述のクリーニング手順を実行します。

目的	必要な操作
省電力モードから電話機スクリーンを復帰させる	任意のボタンを押すか、ハンドセットを取り上げます。 非アクティブ期間（システム管理者が決定）後に、電話機スクリーンは、電力節約のために省電力モードになります。このモードでは、電話スクリーンには何も表示されず、ディスプレイ ボタン  が点灯し続けます。

機能ボタンおよびメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	必要な操作
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  ディレクトリ  設定  ヘルプ
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの 1 つ前のレベルに戻る	[終了 (Exit)] を押します。メニューの最上位レベルで [終了 (Exit)] を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	機能タブを押します。機能メニューごとに、対応するタブがあります。機能メニューを開くと、対応するタブが表示されます。

電話機のヘルプ システムの使用

この電話機は、包括的なオンライン ヘルプ システムを備えています。ヘルプの項目は電話スクリーンに表示されます。

目的	必要な操作
メイン メニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。 メイン メニューには、次の項目が含まれます。 • Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明 • 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順 • コール機能：コール機能に関する説明や手順 • ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すばやくボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 、  、  のいずれかを押すと、機能メニューが表示されます。メニュー項目を強調表示し、  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 をすばやく 2 回押します。必要なヘルプ項目を選択します。

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

機能にアクセスするには、ソフトキーを使うか回線ボタンを押します。機能の一部はユーザが設定できませんが、大部分はシステム管理者が制御します。

次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
コールバック	折返し (CallBack)	折返し 
コール転送	不在 (CFwdALL)	不在転送 
コール パーク	パーク (Park)	パーク 

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
コール ピックアップ	ピック (PickUp)	ピック 
会議	会議 (Confn)	会議 
会議リスト	参加者 (ConfList)	会議リスト 
サイレント	サイレント (DND)	サイレント  または サイレント 
コールの終了	終了 (EndCall)	コールの終了 
グループ ピックアップ	G ピック (GPickUp)	グループ ピックアップ 
保留	保留 (Hold)	保留 
ハント グループ	ハント (HLog)	ハント グループ  または ハント グループ 
迷惑呼 ID	迷惑呼 (MCID)	迷惑呼 ID 
ミーティング会議	ミーティング (MeetMe)	ミーティング 
モビリティ	モビリティ (Mobility)	モビリティ 
発信	発信 (New Call)	発信 
その他のグループ ピックアップ	他 Grp (OPickUp)	その他のグループ ピックアップ 
品質レポート ツール	品質 (QRT)	品質レポート ツール 
リダイヤル	リダイヤル (Redial)	リダイヤル 
最後の会議参加者の削除	ドロップ (RmLstC)	最後の参加者の削除 
転送	転送 (Transfer)	転送 
サポートされるビデオ	ビデオ (VidMode)	ビデオ 

SIP および SCCP について

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

コール機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものかを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報 (Model Information)] > [コール制御プロトコル (Call Control Protocol)] を選択します。

省電力について

電話機は、Cisco EnergyWise プログラムをサポートしています。システム管理者は、節電のために電話機のスリープ（電源オフ）時間とウェイク（電源オン）時間を設定します。

オーディオアラートがシステム管理者によって有効になっている場合は、スケジュールされたスリープ時間の 10 分前に呼出音の再生が聞こえます。呼出音は、次のスケジュールに従って再生されます。

- 電源オフの 10 分前に、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 7 分前に、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 4 分前に、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 30 秒前に、呼出音は、15 回再生されるか、電話機の電源がオフになるまで再生されます。

スリープ時に電話機が非アクティブ（アイドル）の場合は、電話機の電源がオフにされることを通知するメッセージが表示されます。電話機をアクティブな状態のまま保つには、電話機の任意のキーを押します。どのキーも押さなかった場合、電話機の電源はオフになります。

電話機がアクティブ（電話中など）の場合、電話機が非アクティブになってしばらく経ってから、保留になっている電源シャットダウンの通知が表示されます。シャットダウン前に、電話機の電源がオフになることを通知するメッセージが表示されます。

スケジュールされた時間に、電話機の電源はオンになります。スケジュール時間よりも前に電話機を復帰させるには、管理者に連絡してください。

ウェイク時間とスリープ時間は、通常勤務する設定済みの日にもリンクされています。要件が変わった（たとえば、勤務時間または勤務日が変わった）場合は、電話機を再設定するようシステム管理者に依頼してください。

EnergyWise および電話機の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

基本的なコール処理

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能の Availability は異なることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

次に、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を紹介します。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げて、番号を入力します。	「電話機の概要」 (P.17)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」 (P.67)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合、[発信 (New Call)] を押し、番号を入力します。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」 (P.67)
番号をリダイヤルする	[リダイヤル (Redial)] を押し、最後の番号をダイヤルするか、または、電話機がアイドルの状態ではナビゲーション ボタンを押し、発信履歴を参照します。	「履歴の使用方法」 (P.75)
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (同じ回線を使用)	1. [保留 (Hold)] を押します。 2. [発信 (New Call)] を押します。 3. 番号を入力します。	「コールの保留と復帰」 (P.35)
履歴からダイヤルする	1.  > [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。 2. リストを選択するかまたはスクロールして、オフフックにします。	「履歴の使用方法」 (P.75)

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げるか、[ダイヤル (Dial)]、、または  を押して、オフフックにします。
- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルを使用し、表示された番号をコールするには、番号を押すか、または番号をスクロールしてオフフックにします。
- 間違ってダイヤルした場合は、[<<] を押して、番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- ご使用の電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コール ディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：その他のオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信できます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (異なる回線を使用)	- 新しい回線で  を押します。最初のコールは自動的に保留状態になります。 - 番号を入力します。	「 コールの保留と復帰 」 (P.35)
スピード ダイヤルを使用する	次のいずれかを実行します。  (スピード ダイヤル ボタン) を押します。 - 短縮ダイヤル機能を使用します。 - ファスト ダイヤル機能を使用します。	「 短縮ダイヤル 」 (P.49)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	 > [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します (名前は異なる場合があります)。 - 名前を入力して [検索 (Search)] を押します。 - リストを強調表示し、オフフックにします。	「 履歴の使用方法 」 (P.75)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
Cisco WebDialer を使用し、パーソナル コンピュータ上の社内ディレクトリからダイヤルする	1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。	「Cisco WebDialer の使用方法」(P.100)
話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに、折返しを使用して通知を受信する	1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し (CallBack)] を押します。 2. 電話を切ります。回線が利用できるようになると、電話機から通知を受けます。 3. 再びコールを発信します。 (注) コールが監察されている場合は、コール観察者は [折返し (CallBack)] を使用できません。	システム管理者
スピード ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストに関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。	「BLF の使用による回線の状態の確認」(P.57)
プライオリティ (Precedence) コールを発信する (SCCP 電話機のみ)	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	「重要なコールの優先順位付け」(P.61)
Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) のエントリからダイヤルする	1.  > [パーソナル ディレクトリ (Personal Directory)] を選択してログインします。 2. [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択し、リストを検索します。	「電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法」(P.80)
課金コードまたはトラッキング コードを使用してコールを発信する (SCCP 電話機のみ)	1. 電話番号をダイヤルします。 2. トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアント識別コード) または Forced Authorization Code (FAC; 強制承認コード) を入力します。	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機で Cisco エクステンション モビリティ サービスにログインします。	「Cisco エクステンション モビリティ の使用方法」(P.63)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	1. システム管理者からモバイル ボイス アクセスの番号とエンド ユーザの PIN を入手します。 2. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 3. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 4. 会社の IP Phone に発信するために 1 を押します。 5. デスクトップの電話番号にダイヤルします（自分のデスクトップの番号以外）。	「 1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 」(P.64)
ファスト ダイヤルを使用してコールを発信する	(注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。 設定後に、次の手順を実行します。 1. [ファスト ダイヤル (Fast Dial)] 回線ボタンを押します。 2. エントリを検索して選択するには、インデックス番号までスクロールするか、インデックス番号を押します。 指定した番号がダイヤルされます。	「 Web でのファスト ダイヤルの設定 」(P.90)
PAB を使用してコールを発信する	(注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。 1. [PAB] 回線ボタンを押します。 2. 連絡先にアクセスし、番号を選択します。 指定した番号がダイヤルされます。	「 Web での個人アドレス帳の使用方法 」(P.89)

コールへの応答

ハンドセットを取り上げて、コールに応答することができます。または、電話機のその他のオプションが利用可能な場合、それらを使用することができます。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は、押します。 が点灯している場合は、[応答 (Answer)] または  (点滅) を押します。 (注) 呼び出す回線は自動的に選択されます。毎回プライマリ回線を選択するオプションについては、システム管理者にお問い合わせください。 ワイヤレス ヘッドセットを使用している場合は、ワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参照してください。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」(P.67)
スピーカフォンで応答する	、[応答 (Answer)]、または  (点滅) を押します。 (注) 呼び出す回線は自動的に選択されます。毎回プライマリ回線を選択するオプションについては、システム管理者にお問い合わせください。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」(P.67)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答 (Answer)] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	「コールの保留と復帰」(P.35)
コール待機を使用して応答する	[応答 (Answer)] を押します。	「コールの保留と復帰」(P.35)
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送 (iDivert)] を押します。	「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」(P.39)
自動接続コール	自動応答を使用します。	「ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用」(P.69)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パーク、ダイレクト コール パーク、または処理されたダイレクト コール パークを使用します。	「パークされているコールの保存と取得」(P.52)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
電話機を使用して、他の場所 で呼び出し中のコールに応答 する	コール ピックアップを使用します。	「自分の電話機で他の電話機 の着信に応答」 (P.50)
プライオリティ コールに応答 する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [応答 (Answer)] を押します。	「重要なコールの優先順位付 け」 (P.61)
携帯電話または他のリモート 接続先でコールに応答する	モバイル コネクトを設定して電話に応 答します。 モバイル コネクトを有効にして携帯電 話でコールに応答するときに、最大 4 台の IP Phone または Softphone を共有 回線として設定している場合、他の電 話機の点滅が停止します。	「1 つの電話番号を使用した ビジネス コールの管理」 (P.64) を参照してください。

ヒント

- ・ コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- ・ コール センターまたは同様の環境で勤務している場合は、事前に録音した独自のグリーティングを作成、更新、および削除できます。このグリーティングは、電話機に対してエージェント グリーティングが設定されている場合に自動的に再生されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- ・ コール観察ユーザは、コールが監察されているときは着信コールに応答できません。

コールの終了

コールを終了するには、切断します。詳細を次に示します。

目的	必要な操作
ハンドセットを使用しているときに切 断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [終了 (EndCall)] を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切 断する	 を押します。または、ヘッドセット モードをアクティ ブのままにするには、[終了 (EndCall)] を押します。 Cisco Unified IP Phone 7962G および 7942G は、ワイヤレ ス ヘッドセットをサポートしています。ワイヤレス ヘッド セットを使用している場合、使用方法についてはワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [終了 (EndCall)] を押します。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	[終了 (EndCall)] を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰できます。コールを保留にすると、コール情報領域の右側に保留アイコン  が表示され、 が緑に点滅します。共有回線では、コールを保留にすると、回線ボタンが緑に点滅し、電話機に保留アイコンが表示されます。別の電話機がコールを保留にすると、回線ボタンが赤に点滅し、電話機にリモート保留アイコンが表示されます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータス バーに「保留復帰 (Hold Reversion)」という短いメッセージを表示する
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコン  の動画を表示する
- 点滅するオレンジの回線ボタン （回線の状態によって異なる）を表示する

目的	必要な操作
コールを保留にする	1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。 2. [保留 (Hold)] を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。 2. [復帰 (Resume)] を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	1. 該当する回線ボタン  または （点滅）を押します。この操作により、保留コールが自動的に復帰する場合があります。 — 回線に復帰コールが 1 つある場合、そのコールは保留解除されます。 — 回線に復帰コールが複数ある場合、最も古い復帰コールが保留解除されます。 — 非復帰の保留コールが、回線の唯一のコールである場合は、非復帰の保留コールが復帰します。 2. 必要に応じて、該当するコールまでスクロールし、[復帰 (Resume)] を押します。

ヒント

- 保留機能をオンにすると通常、音楽（[保留音（Music on Hold）] が設定されている場合）またはビープ音が生成されます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。
- コールが監察されている場合は、コール観察者は [保留（Hold）] を使用できません。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットでミュートを使用できます。

目的	必要な操作
マイクروفオンをオンにする	 を押します。
マイクروفオンをオフにする	 を押します。

複数のコール間での切り替え

1 本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、ナビゲーション ボタンを使用してそのコールまでスクロールします。

目的	必要な操作
同じ回線で接続されているコールを切り替える	1. 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。 2. [復帰（Resume）] を押します。 アクティブなコールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。
異なる回線で接続されているコールを切り替える	切り替え先の回線で  を押します。 この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールを強調表示し、[復帰（Resume）] を押します。

目的	必要な操作
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[応答 (Answer)] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。アクティブなコールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。

進行中のコールの他の電話機への切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	必要な操作
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	[モビリティ (Mobility)] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信 (Send call to mobile)] を選択します。 - 進行中のコールに携帯電話で応答します。 デスクトップの電話回線ボタンが赤に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールには同じ電話回線を使用できません。ただし、デスクの電話機が複数の回線をサポートしている場合は、別の回線を使用してコールを発信および受信できます。
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	- 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。 - デスクトップの電話機で 4 秒以内に [復帰 (Resume)] を押して、デスクトップの電話機で会話を開始します。
進行中のコールを携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機に切り替える (セッション ハンドオフ)	- 携帯電話でセッション ハンドオフ機能のアクセス コード (*74 など) を押します。アクセス コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。 - 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。 - デスクトップの電話機で 10 秒以内に [応答 (Answer)] ソフトキーを押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。デスクの電話機でコールに応答するまでの秒数は、システム管理者によって設定されます。 同じ回線を共有する他の Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中 (Remote in Use)」メッセージが表示されます。コールを再開するまでの秒数は、システム管理者が行う設定によって決まります。

複数のコールの表示

電話機に複数のコールを表示する方法を理解することで、コール処理の計画に役立ちます。

標準表示モードで、この電話機は、次のように強調表示されている回線でコールを表示します。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

次に示すその他の方法を利用し、複数の回線の複数のコールを表示できます。

目的	必要な操作
別の回線のコールを表示する	1.  を押します。 2. すぐに回線ボタン  を押します。
コールの概要モードに切り替える	強調表示された回線の  を押します。 電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに 1 つのコールが表示されます。表示されているコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。 標準の表示モードに戻るには、  を押してから、すぐに回線ボタンを押します。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	1. アクティブなコールで [転送 (Transfer)] を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. [転送 (Transfer)] をもう一度押して転送を完了するか、[終了 (EndCall)] を押してキャンセルします。 (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。

目的	必要な操作
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	1. アクティブなコールで [転送（Transfer）] を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. [転送（Transfer）] をもう一度押して転送を完了するか、[終了（EndCall）] を押してキャンセルします。 (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[即転送（iDivert）] を押します。詳細は、「 ボイス メッセージ システムへのコールの送信 」(P.39) を参照してください。

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または [転送（Transfer）] を押してから切断できます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、[転送（Transfer）] を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- [転送（Transfer）] を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[復帰（Resume）] を押して、転送前にコールの保留を解除してください。
- コールが監察されている場合は、コール観察者は転送を使用できません。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送（iDivert）] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送（iDivert）] を使用して、別の相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

目的	必要な操作
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	[即転送（iDivert）] を押します。次のどちらかになります。 • コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 • 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

- コールが最初から別の相手の電話機に送信されていた場合は、[即転送 (iDivert)] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのいずれかにリダイレクトできます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、[即転送 (iDivert)] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。
- 電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送 (iDivert)] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッション ハンドオフ）、Cisco Unified デバイスの即転送機能は無効になります。即転送機能は、コールが終了すると復帰します。

別の電話番号へのコールの転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって設定されている場合は、次の 2 種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送（すべてのコールの転送）：受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機または Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからアクセスできますが、条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作
プライマリ回線の不在転送を設定する	[不在 (CFwdALL)] ソフトキーまたは [不在転送 (Forward All)] ボタンを押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線の不在転送をキャンセルする	[不在 (CFwdALL)] ソフトキーまたは [不在転送 (Forward All)] ボタンを押します。
プライマリ回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	次を確認します。 • プライマリの電話番号の上にコール転送アイコン  が表示されている。 • ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。

目的	必要な操作
リモート操作によって、またはプライマリでない回線に対して、コール転送を設定またはキャンセルする	1. ユーザ オプション Web ページにログインします。（「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.87) を参照）。 2. コール転送設定にアクセスします（「Web での回線設定の制御」(P.96) を参照してください）。 (注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。ユーザが自分でユーザ オプション Web ページの設定を確認する必要があります。

ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセス コードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送できます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッション ハンドオフ）、Cisco Unified デバイスでコール転送機能が無効になります。コール転送機能は、コールが終了すると復帰します。

サイレントの使用

サイレント機能を使用すると、電話機の呼出音だけをオフにしたり、音声と表示による着信コール通知をすべてオフにしたりできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機でサイレントと不在転送の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。

- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールだけが自動応答されます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッション ハンドオフ）、Cisco Unified デバイスでサイレント機能が無効になります。サイレント機能は、コールが終了すると復帰します。

目的	必要な操作
サイレントをオンにする	[サイレント (DND)] ソフトキーまたは [サイレント (Do Not Disturb)] ボタン  を押します。 電話機に「サイレント (Do Not Disturb)」と表示され、サイレント ライト  が点灯し、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント (DND)] ソフトキーまたは [サイレント (Do Not Disturb)] ボタン  を押します。
サイレントの設定値をカスタマイズする	サイレントの設定値がユーザ オプション ページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。 - ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」 (P.87) を参照してください。 - ドロップダウン メニューから、[ユーザオプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 - 次のオプションを設定できます。 [サイレント (Do Not Disturb)] : サイレントを有効または無効に設定します。 [DND オプション (DND Option)] : [コール拒否 (Call Reject)] (音声および表示による通知をオフにする) または [呼出音オフ (Ringer Off)] (呼出音だけをオフにする) を選択します。 [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] (設定された DND オプションに適用される) : アラートをビープ音だけまたは点滅だけに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし (None)] を選択します (システム管理者が設定した「アラート (Alert)」設定が使用されます)。

会議コールの使用法

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

会議の各機能の使用法

会議は、必要に応じて、また電話機で利用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- **会議**：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[**会議（Confrn）**] ソフトキーまたは [**会議（Conference）**] ボタンを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- **参加**：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[**参加（Join）**] ソフトキーまたは [**参加（Join）**] ボタンを使用します。
- **C 割込**：共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。回線ボタンを押すか、[**C 割込（cBarge）**] ソフトキーまたはボタンを使用します。C 割り込み機能を使用できるのは、共有回線を使用する電話機のみです。
- **ミートミー**：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[**ミートミー（MeetMe）**] ソフトキーまたはボタンを使用します。

会議機能の使用法

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	必要な操作
会議を開催する	1. 接続コールで、[会議（Confrn）] ソフトキーまたは [会議（Conference）] ボタンを押します。必要に応じて [次へ（more）] ソフトキーを押して、[会議（Confrn）] を表示します。 2. 参加者の電話番号を入力します。 3. コールの接続を待ちます。 4. [会議（Confrn）] ソフトキーまたは [会議（Conference）] ボタンを再び押して、新しい参加者をコールに追加します。 5. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
既存の会議に新しい参加者を追加する	上記の手順を繰り返します。 会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[会議参加者の表示または削除] (P.46) を参照してください。

参加機能の使用手法

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	必要な操作
単一の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	1. アクティブなコールで会議に含める別のコールを強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 選択したコールにアイコン  が表示されます。 2. 追加するコールごとにこの手順を繰り返します。 3. [参加 (Join)] を押します。必要に応じて [次へ (more)] ソフトキーを押して、[参加 (Join)] を表示します。
複数の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	1. アクティブなコールで [参加 (Join)] を押します。必要に応じて [次へ (more)] ソフトキーを押して、[参加 (Join)] を表示します。 2. 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタン  を押します。 次のどちらかになります。 • コールが結合されます。 • 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、コールを強調表示し、[選択 (Select)] を押してから、[参加 (Join)] を押します。 (注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、参加機能を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[参加者 (ConfList)] または [会議リスト (Conference List)] を押します。必要に応じて、先に [次へ (More)] ソフトキーを押します。 「会議参加者の表示または削除」(P.46) を参照してください。

ヒント

- 3 人以上の通話相手を結合して 1 つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから [参加 (Join)] を押すと操作が完了するため、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者 ID が「会議 (Conference)」に変わります。
- [参加 (Join)] ソフトキーまたは [D 転送 (DirTrfr)] ソフトキーを使用して複数の会議コールを結合できる場合があります。この機能が使用可能になっているかどうかをシステム管理者に確認してください。
- コール観察ユーザは最初の発信者とのみ会議できます。2 人目以降の発信者は、会議の他の参加者と会議を行うことができます。

C 割り込みの使用方法

C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できます。

目的	必要な操作
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	共有回線の回線ボタンを押します。 場合によっては、コールを強調表示し、[C 割込 (cBarge)] を押して操作を完了する必要があります。 詳細については、「 割り込みの使用による共有回線のコールへの参加 」(P.54) を参照してください。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	「 会議参加者の表示または削除 」(P.46) を参照してください。

ミートミーの使用方法

ミートミー会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	必要な操作
ミートミー会議を開催する	1. システム管理者からミートミー電話番号を取得します。 2. 参加者に番号を配布します。 3. 会議を開始する準備ができたなら、ハンドセットを取り上げてダイヤル トーンを受信し、[ミートミー (MeetMe)] を押します。 4. ミートミー会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加できます。 (注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。
ミートミー会議に参加する	ミートミー会議番号をダイヤルします（この番号は会議の開催者から提供されます）。 (注) 会議の開催者の参加よりも前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。
ミートミー会議を終了する	参加者全員が、切断する必要があります。 会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機から安全なミートミー会議番号にコールすると、電話機に「認証されていないデバイス (Device Not Authorized)」というメッセージが表示されます。詳細については、「[安全なコールの送受信](#)」(P.58) を参照してください。

会議参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

会議の参加者のリストを表示する	• [参加者（ConfList）] または [会議リスト（Conference List）] を押します。 • 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。 （注） 会議の参加者リスト（[参加者（ConfList）]）には、最大 16 人の参加者が表示されます。ユーザは会議ブリッジでサポートされる数だけ会議参加者を追加できますが、[参加者（ConfList）] には 16 人の参加者しか表示されません。新しい参加者が会議に参加すると、[参加者（ConfList）] には最新の 16 人の参加者のみ表示されます。
会議の参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新（Update）] を押します。
会議の開催者を確認する	会議リストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[削除（Remove）] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[ドロップ（RMLstC）] ソフトキーまたは [最後の参加者の削除（Remove Last Participant）] ボタンを押します。
会議コールのセキュリティを確認する	「会議（Conference）」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	「 会議機能の使用法 」（P.43）を参照してください。

インターコム コールの発信と受信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話機にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されます。

通話相手はインターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択します。

- マイクロフォンをミュートにして発信者の通話を聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[終了 (EndCall)] ソフトキーを押してインターコム コールを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1 つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 同時に使用できるインターコム回線は 1 つだけです。
- アクティブなコールがモニタまたは記録されているときは、インターコム コールを受信または発信できます。
- インターコム コールは保留にできません。

Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用して日常的に同じ電話機にログインする場合は、システム管理者がインターコム情報を含む電話ボタン テンプレートをそのプロファイルに割り当てていることを確認し、電話機をインターコム回線のデフォルトのインターコム デバイスとして割り当ててください。

目的	必要な操作
事前設定したインターコムの通話相手にインターコム コールを発信する	 (インターコムの通話相手の回線) を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
任意のインターコム番号にインターコム コールを発信する	 (インターコム回線) を押します。インターコムの通話相手の番号を入力するか、相手のスピード ダイヤル番号を押します。インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
インターコム コールを受信する	インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。 • 一方向のオーディオでメッセージを聞きます。 •  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話します。 • インターコム コールにフォーカスがある状態で [終了 (EndCall)] を押します。

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル

スピードダイヤル機能を使用して、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または、電話スクリーン項目の選択を行い、発信できます。設定に応じて、電話機で、複数のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル ボタン
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル

スピードダイヤルおよび短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」(P.87) を参照してください。

ファストダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。「[電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」(P.80) を参照してください。

または、システム管理者が、スピードダイヤル機能を設定できます。

目的	必要な操作
スピードダイヤル ボタンを使用する	1. スピードダイヤル ボタンを設定します。「Web でのスピードダイヤルの設定」(P.92) を参照してください。 2. コールを発信するには、 (スピードダイヤル ボタン) を押します。 (注) 電話機が Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 短縮ダイヤル機能をサポートする場合は、短縮ダイヤル番号が話し中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。「BLF の使用による回線の状態の確認」(P.57) を参照してください。
短縮ダイヤルを使用する	1. 短縮ダイヤル コードを設定します。「Web でのスピードダイヤルの設定」(P.92) を参照してください。 2. コールを発信するには、短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮 (AbbrDial)] を押します。

目的	必要な操作
ファスト ダイヤルを使用する	1. 個人アドレス帳エントリを作成し、ファスト ダイヤル コードを割り当てます。「Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法」(P.88)を参照してください。 2. コールを発信するには、電話機からファスト ダイヤル サービスにアクセスします。「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法」(P.80)を参照してください。

自分の電話機で他の電話機の着信に応答

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理タスクを共有する場合、コール ピックアップを使用することができます。

目的	必要な操作
自分のコール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに応答する	1. [ピック (PickUp)] ソフトキーまたは[ピック (PickUp)] ボタンを使用します (ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります)。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。 2. コールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。
自分のコール ピックアップ グループ外の別の内線で鳴っているコールに応答する	1. [G ピック (GPickUp)] ソフトキーまたは[グループ ピックアップ (Group PickUp)] ボタンを使用します。ソフトキーを表示するには、ハンドセットを取り上げなければならないことがあります。 2. グループ ピックアップ番号を入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。 3. コールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。

目的	必要な操作
自分のグループまたは関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	1. [他 Grp (OPickUp)] ソフトキーまたは [他のピックアップ (Other PickUp)] ボタンを使用します。ソフトキーを表示するには、ハンドセットを取り上げなければならないことがあります。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。 2. コールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。
特定の内線（回線番号）で鳴っているコールに応答する	1. [G ピック (GPickUp)] ソフトキーまたは [グループ ピックアップ (Group PickUp)] ボタンを使用します。ソフトキーを表示するには、ハンドセットを取り上げなければならないことがあります。 2. ピックアップするコールの回線番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で鳴っている場合、12345 と入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。 3. コールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。

ヒント

- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。
- [G ピック (GPickUp)] ソフトキーまたは [グループ ピックアップ (Group PickUp)] ボタンを押して回線番号を入力すると、電話機はその回線で呼び出し中のコールをピックアップします（回線が使用可能な場合）。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線のコールに応答する場合、最初に目的の回線の  を押してからコール ピックアップのボタンまたはソフトキーを押します。
- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップ グループへのコールに関する音声または表示（あるいはその両方）によるアラートを受信する場合があります。
- BLF ピックアップ機能を電話機で使用する場合は、「[BLF の使用による回線の状態の確認](#)」(P.57) を参照してください。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。

次の方法を使用してコールをパークできます。

- コール パーク：[パーク (Park)] ソフトキーを使用してコールを保存します。コールが保存されるコール パーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- ダイレクト コール パーク：コール中に [転送 (Transfer)] ソフトキーを押します。コールを保存するには、ダイレクト コール パーク番号をダイヤルし、[転送 (Transfer)] をもう一度押します。
- 処理されたダイレクト コール パーク：アイドル状態の回線ステータス インジケータが表示された [処理されたダイレクト コール パーク (Assisted Directed Call Park)] ボタンを使用します。ネットワークの他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得するには、点滅している [処理されたダイレクト コール パーク (Assisted Direct Call Park)]  ボタンを押します。

目的	必要な操作
コール パークを使用してアクティブなコールを保存する	1. コール中に [パーク (Park)] を押します。必要に応じて、[次へ (more)] ソフトキーを押して、[パーク (Park)] を表示します。 2. 電話機のスクリーンに表示されたコール パーク番号を書き留めます。 3. 電話を切ります。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクト コール パーク番号に転送し、保存する	1. コール中に [転送 (Transfer)] を押します。 2. ダイレクト コール パーク番号をダイヤルします。 3. もう一度 [転送 (Transfer)] を押して、コールの保存を終了します。
パークされたコールをダイレクト コール パーク番号から取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone からパーク取得プレフィックスを入力し、ダイレクト コール パーク番号にダイヤルします。
アクティブなコールを処理されたダイレクト コール パーク番号に転送し、保存する	コール中に、アイドル状態の回線ステータス インジケータ  が表示された [処理されたダイレクト コール パーク (Assisted Directed Call Park)] ボタンを押します。
パークされたコールを処理されたダイレクト コール パーク番号から取得する	点滅している [処理されたダイレクト コール パーク (Assisted Direct Call Park)]  ボタンを押します。 (注) 管理者が復帰電話番号を設定していない場合、パークされたコールは、そのコールをパーク中の電話機に復帰します。

ヒント

- パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、Cisco Unified IP Phone または Cisco Unified IP Phone Expansion Module（電話機で使用可能であり、サポートされている場合）で使用可能な回線ボタンに [ダイレクトコールパーク（Directed Call Park）] ボタンを割り当てることができます。
- [ダイレクトコールパーク（Directed Call Park）] ボタンがない場合でも、ダイレクト コール パーク 番号にダイヤルできます。ただし、ダイレクト コール パーク 番号のステータスは表示されません。

ハント グループからのログアウト

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハント グループのメンバーになっている可能性があります。ハント グループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハント グループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハント グループからログアウトすることによって、ハント グループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

目的	必要な操作
ハント グループからログアウトして一時的にハント グループのコールをブロックする	[ハント（HLog）] ソフトキーまたは [ハントグループ（Hunt Group）] ボタンを押します。電話機のスクリーンに「ハントグループからログアウト（Logged out of Hunt Group）」と表示されます。
ログインしてハント グループのコールを受信する	[ハント（HLog）] ソフトキーまたは [ハントグループ（Hunt Group）] ボタンを押します。ログインすると、[ハントグループ（Hunt Group）] ボタン  が点灯します。

ヒント

ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールは引き続き着信します。

共有回線の使用

次の場合、システム管理者が共有回線の使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で 1 つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコン  は、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されている場合でも、共有回線では通常どおりにコールの発信や受信を行うことができます。

コール情報の共有と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID や通話時間などが含まれます。例外については、「[プライバシー](#)」の項を参照してください。

コールに関する情報がこのように表示されているときは、[割り込み (Barge)] または [C 割込 (cBarge)] を使用して、回線を共有する同僚とともに、コールに参加できます。「[割り込みの使用による共有回線のコールへの参加](#)」(P.54) を参照してください。

プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。「[他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止](#)」(P.56) を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

割り込みの使用による共有回線のコールへの参加

割り込み機能 ([C 割込 (cBarge)] または [割り込み (Barge)]) を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できます (プライベート コール以外のコールである必要があります。「[共有回線の使用](#)」(P.53) を参照してください)。

割り込み機能について

C 割り込みと割り込み

電話機の設定によっては、[C 割込 (cBarge)] または [割り込み (Barge)] を使用して、共有回線のプライベート以外のコールに自分自身を追加できます。

- [C 割込 (cBarge)] を使用すると、コールを標準の会議に切り替え、新しい参加者を追加できます。標準の会議の詳細については、「[会議コールの使用方法](#)」(P.43) を参照してください。

- [割込み (Barge)] を使用すると、コールに自分自身を追加することはできますが、コールを会議に切り替えることや、新しい参加者を追加することはできません。

ワンボタン割り込みとマルチタッチ割り込み

電話機の割り込み機能がワンボタン機能またはマルチタッチ機能のどちらとして動作するかは、システム管理者が決定します。

- ワンボタン割り込みでは、回線ボタンを押してコールに割り込むことができます（回線にコールが1つしかない場合）。
- マルチタッチ割り込みでは、コール情報を表示した後で割り込むことができます。

割り込み機能の使用方法

次の表に、割り込み機能（[C 割込 (cBarge)] または [割込み (Barge)] ）を使用して共有回線のコールに自分自身を追加する方法を示します。

目的	必要な操作
共有回線が使用中であることを確認する	赤い回線ボタン  の横にある、リモートで使用中のアイコン  を確認します。
共有回線のコールに参加する	共有回線の赤い回線ボタン  を押します。 次のどちらかになります。 • コールに追加されます。 • 割り込み先のコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、[割込み (Barge)] または [C 割込 (cBarge)] を押します。必要に応じて [次へ (more)] ソフトキーを押して、[割込み (Barge)] または [C 割込 (cBarge)] を表示します。
会議の参加者を表示する（C 割り込みを使用した場合）	「 会議参加者の表示または削除 」（P.46）を参照してください。

ヒント

- コールに割り込むと、他の参加者に対して自分の存在を知らせるピープ音が鳴ることがあります。[C 割込 (cBarge)] を使用した場合は、他の参加者に短い割り込み音が聞こえ、電話機のスクリーンが切り替わって会議の詳細が表示されます。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が無効で、Private Line Automated Ringdown (PLAR) で設定されている場合でも、割り込みと C 割り込み機能は使用できます。

- ・ [割込み (Barge)] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用し、回線を共有している他者が自分のコールを表示したり自分のコールに割り込んだりする（コールに参加する）のを防止することができます。

目的	必要な操作
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	1. [非通知 (Private)]  を押します。 2. プライバシー機能がオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタン  の横にある、プライバシー機能が有効のアイコン  を確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	1. [非通知 (Private)]  を押します。 2. プライバシー機能がオフであることを確認するには、点灯していない回線ボタン  の横にある、プライバシー機能が無効のアイコン  を確認します。

ヒント

- ・ 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。
- ・ プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

BLF の使用による回線の状態の確認

Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 機能を使用すると、電話機のスピード ダイヤル ボタン、履歴、またはディレクトリ リストに関連付けられた電話回線の状態を確認できます。BLF ピックアップを使用すると、モニタ対象の回線で呼び出し中のコールに応答できます。どの BLF 機能を電話機に設定するかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。  回線は使用中です。  回線はアイドルの状態です。  回線はサイレント状態です。  この回線では、BLF インジケータは使用できません。
スピード ダイヤル回線の状態を確認する	回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。  +  : 回線は使用中です。  +  : 回線はアイドルです。  +  : 回線はサイレント状態です。  +  (点滅) : 回線は呼び出し中です (BLF ピックアップのみ)。  この回線では、BLF インジケータは使用できません。
BLF ピックアップを使用して、同僚の電話機で呼び出し中のコールに応答する	回線の呼び出し中に [BLF ピックアップ (BLF Pickup)] ボタン  を押します。電話機で使用可能な次の回線にコールがリダイレクトされます 回線を指定する場合は、先に回線ボタンを押してから、[BLF] ボタンを押します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、自動的にコールが接続されます。サポートしていない場合、ユーザが自分でコールに応答するようにユーザ自身の電話機が鳴ります。 (注) モニタ対象の回線が呼び出し中 でないときに [BLF ピックアップ (BLF Pickup)] ボタンを押すと、電話機はその回線番号にスピード ダイヤル します。

ヒント

- モニタ対象の回線に呼び出し中のコールがあるときに、電話機がオーディオ インジケータを再生して通知できる場合があります（BLF ピックアップのみ）。
- BLF ピックアップは、モニタリング対象の回線に呼び出し中のコールが複数ある場合、呼び出し中のコールの中で最も古いコールから応答します。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定するかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機では、Cisco Unified CM ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールです。
- **保護されたコール**：電話機は、Unified CM サーバ上の安全な（暗号化および信頼された）デバイスであり、Unified CM Administration で「保護されたデバイス（Protected Device）」として設定されます。

Unified CM Administration で [セキュア インディケーション トーンの再生（Play Secure Indication Tone）] が有効（True）になっている場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュアまたはノンセキュア インディケーション トーンが再生されます。

- エンドツーエンドのセキュア メディアが **Secure Real-Time Transfer Protocol（SRTP**; セキュア リアルタイム転送プロトコル）によって確立され、コール ステータスがセキュアである場合、セキュア インディケーション トーン（短い間隔で 3 回の長いビープ音）が再生されます。
- エンドツーエンドのノンセキュア メディアが **Real-Time Protocol（RTP**; リアルタイム プロトコル）によって確立され、コール ステータスがノンセキュアである場合、ノンセキュア インディケーション トーン（短い間隔で 6 回の短いビープ音）が再生されます。

[セキュア インディケーション トーンの再生（Play Secure Indication Tone）] オプションが無効（False）になっている場合、トーンは再生されません。

- **保護されないコール**：電話機のステータスは、Unified CM で「保護されたデバイス（Protected Device）」ではありません。セキュアまたはノンセキュア インディケーション トーンは再生されません。
- **ノンセキュアコール**：電話機は Unified CM サーバ上で保護されず、コール ステータスはノンセキュアになります。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

システム管理者は、必要に応じて、VPN クライアント機能も設定します。この機能を有効にし、VPN クライアント モードが電話機で有効になっている場合は、次のように自分の認定証を要求されます。

- 電話機が企業ネットワークの外部にある場合：ログイン時に、システム管理者が電話機に設定した認定方式に基づいて、資格情報を入力するように求められます。
- 電話機が企業ネットワークの内部にある場合：
 - － 自動ネットワーク検出が無効の場合、資格情報が求められ、VPN 接続が可能です。
 - － 自動ネットワーク検出が有効の場合、VPN 経由で接続できないため、認定証を求められることはありません。

VPN の設定にアクセスするには、[設定 (Settings)] ボタンを押し、[セキュリティ設定 (Security Configuration)] > [VPN の設定 (VPN Configuration)] を選択します。

電話機が起動し、VPN ログイン画面が表示されたら、設定された認定方式に基づいて、資格情報を入力します。

- ユーザ名とパスワード：システム管理者から提供されたユーザ名とパスワードを入力します。
- パスワードと証明書：システム管理者から提供されたパスワードを入力します。ユーザ名は証明書から得られます。
- 証明書：電話機が認証のために証明書だけを使用する場合、認証データを入力する必要はありません。VPN ログイン画面には、VPN 接続を試行している電話機のステータスが表示されます。

パスワードを要求する認証方式では、[<<] ソフトキーを使用して1文字戻り、パスワードを修正します。

特定の状況下で電源が失われたり、リセットされたりすると、保存されている資格情報がクリアされます。

VPN 接続を確立するには、[送信 (Submit)] ソフトキーを押します。

VPN ログイン プロセスを無効にするには、[キャンセル (Cancel)] ソフトキーを押します。

目的	必要な操作
コールまたは会議のセキュリティ レベルを確認する	コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。  認証されたコールまたは会議  暗号化されたコールまたは会議  ノンセキュアなコールまたは会議

目的	必要な操作
電話接続（コール ステータス）がセキュアであることを確認する	コールの開始時にセキュア インディケーション トーンの音を確認します。 - セキュア コール ステータス：電話機が保護されており、[セキュア インディケーション トーンの再生（Play Secure Indication Tone）] が有効で、コール ステータスがセキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュア インディケーション トーン（短い間隔で 3 回の長いビープ音）が再生されます。また、コールが安全であることを示すロック アイコンが表示されます。 - ノンセキュア コール ステータス：電話機が保護されており、[セキュア インディケーション トーンの再生（Play Secure Indication Tone）] が有効で、コール ステータスがノンセキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時にノンセキュア インディケーション トーン（短い間隔で 6 回の短いビープ音）が再生されます。また、コールが安全でないことを示す再生矢印アイコンが表示されます。 詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。

相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

	
(注)	コールに参与するデバイスは、シスコによって、信頼できる、または信頼できないと判断されます。コールが安全な場合でも、信頼できないデバイスから発着信したコールのとき、[Cisco Unified IP Phone] 画面に鍵アイコンまたはシールドアイコンは表示されません。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に **Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID)** 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	必要な操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[迷惑呼 (MCID)] ソフトキーまたは [迷惑呼 ID (Malicious Call ID)] ボタンを押します。 電話機でトーンが再生され、電話機に「迷惑呼が成功しました (MCID successful)」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

(SCCP 電話のみ)。

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への **Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)** の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	必要な操作
発信コールのプライオリティ レベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音（通常より速い）または特別なコール待機音が鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティ レベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。

目的または状態	必要な操作
コールのプライオリティ レベルを確認する	電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。  プライオリティ コール  中程度のプライオリティの（即時）コール  プライオリティの高い（フラッシュ）コール  プライオリティの最も高い（フラッシュ オーバーライド）コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常（ルーチン）です。
プライオリティのより高いコールを受け入れる	通常どおりにコールに応答します。必要に応じて、先にアクティブなコールを終了します。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- **MLPP** が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機音が鳴ります。
- 無効な **MLPP** アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。
- 次の場合には、**MLPP** が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されます。
 - コールを保留にする
 - コールを転送する
 - コールを 3 者会議に追加する
 - [ピック（PickUp）] を使用してコールに応答する
- **MLPP** を使用すると、サイレント（DND）機能が無効になります。

Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話機が、電話回線、機能、設定されたサービス、および Web ベースの設定といったユーザ プロファイルを選択します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。

Extension Mobility PIN 設定機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone から PIN を変更できます。

目的	必要な操作
EM にログインする	1.  > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ユーザ ID と PIN (システム管理者から取得) を入力します。 3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します
EM からログアウトする	1.  > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログアウトの指示があったら、[はい (Yes)] を押します。
[クレデンシャルの変更 (Change Credentials)] サービスを使用して PIN を変更する	1.  > [クレデンシャルの変更 (Change Credentials)] を選択します。 2. [ユーザ ID (User ID)] フィールドにユーザ ID を入力します。 3. [現在の PIN (Current PIN)] フィールドに PIN を入力します。 4. [新しい PIN (New PIN)] フィールドに新しい PIN を入力します。 5. [PIN の確認 (Confirm PIN)] フィールドに新しい PIN をもう一度入力します。 6. [変更 (Change)] を押します。 「PIN の変更が完了しました (PIN Change Successful)」メッセージが表示されます。 7. [終了 (Exit)] を押します。
[PIN 設定 (ChangePIN)] ソフトキーを使用して PIN を変更する	1.  > [EM Service] を選択します。 2. [PIN 設定 (ChangePIN)] を押します。 3. [現在の PIN (Current PIN)] フィールドに PIN を入力します。 4. [新しい PIN (New PIN)] フィールドに新しい PIN を入力します。 5. [PIN の確認 (Confirm PIN)] フィールドに新しい PIN をもう一度入力します。 6. [変更 (Change)] を押します。 「PIN の変更が完了しました (PIN Change Successful)」メッセージが表示されます。 7. [終了 (Exit)] を押します。

ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、電話機で EM にログインしている場合はすぐに有効になります。ログインしていない場合は、次回ログインしたときに有効になります。
- ユーザ オプション Web ページを使用して電話機に加えた変更は、EM からログアウトしている場合はすぐに有効になります。ログアウトしていない場合は、ログアウトした後に有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。

1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理

Intelligent Session Control は、携帯電話番号をビジネス電話番号に関連付けます。リモート接続先（携帯電話）へのコールを着信すると、デスクの電話機の呼出音は鳴りません。リモート接続先のみが鳴ります。携帯電話で着信コールに応答すると、デスクの電話機には「リモートで使用中（Remote in Use）」メッセージが表示されます。

通話中には、任意の携帯電話機能も使用できます。たとえば、携帯電話番号にかかってきたコールを受けた場合にも、デスクの電話に応答できます。また、携帯電話からデスクの電話に、コールをハンドオフすることもできます。

目的	必要な操作
着信のモバイル アクティブ コールをデスクの電話機に転送する	携帯電話のさまざまな機能を使用します（*74 など）。アクセス コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセスをインストールしておくと、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。

モバイル コネクトを有効にすると、デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。

デスクトップの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。

1 つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。

目的	必要な操作
モバイル コネクトを設定する	ユーザオプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセス リストを作成します。「 モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定 」(P.98) を参照してください。
携帯電話でコールに応答する	「 コールへの応答 」(P.33) を参照してください。
進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話との間で切り替える	「 進行中のコールの他の電話機への切り替え 」(P.37) を参照してください。
携帯電話で応答したコールを保留にする	1. [保留 (Enterprise Hold)] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 通話相手は保留状態になります。 2. 携帯電話で、[復帰 (Resume)] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。「進行中のコールの他の電話機への切り替え」(P.37) を参照してください。
モバイル ボイス アクセスに接続する	1. 任意の電話機から、割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 発信番号 (要求された場合) と PIN を入力します。
携帯電話からモバイル コネクトを有効にする	1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。 3. 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。 4. モバイル コネクト有効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。 — すべての電話機の場合 : 2 を入力します。 — 1 台の電話機の場合 : 1 を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けて # を入力します。
携帯電話からコールを発信する	「 コールの発信：その他のオプション 」(P.30) を参照してください。

目的	必要な操作
携帯電話からモバイル コネクトを無効にする	1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 3 を押してモバイル コネクトを無効にします。 4. モバイル コネクト無効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。 － すべての電話機の場合：2 を入力します。 － 1 台の電話機の場合：1 を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けて # を入力します。
すべてのリモート接続先へのモバイル コネクト アクセスをデスクトップの電話機で有効または無効にする	1. [モビリティ (Mobility)] を押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。 2. [選択 (Select)] を押して、ステータスを変更します。 3. [終了 (Exit)] を押します。

ヒント

- 次の条件が当てはまる場合は、モバイル ボイス アクセスにコールするときに発信番号と PIN を入力する必要があります。
 - － 発信している番号がリモート接続先の番号でない場合。
 - － 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号 (Unknown Number)」と表示される）場合。
 - － 番号が Unified CM データベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースにリストされている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイル ボイス アクセス コールから切断され、一定の時間ロックアウトされます。サポートが必要な場合は、システム管理者に問い合わせてください。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機と一緒に使用できるオーディオ デバイスは、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンです。

ハンドセットが取り上げられたとき、または別のオーディオ デバイスが使用中のときに、電話機はオフフックになります。

ハンドセットが受け台に置かれていて別のオーディオ デバイスも使用されていないとき、電話機はオンフックになります。

ハンドセットの使用

目的	必要な操作
ハンドセットを使用する	ハンドセットを取り上げると、オフフックになります。受け台に戻すと、オンフックになります。 呼び出す回線は自動的に選択されます。プライマリ回線を常に選択するオプションについては、システム管理者に問い合わせてください。
コール中に、スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存 (Save)] を押します。

ヘッドセットの使用

電話機では、有線ヘッドセット用に 4 線または 6 線のヘッドセット ジャックがサポートされています。Cisco Unified IP Phone 7962G および 7942G はワイヤレス ヘッドセットもサポートしています。ヘッドセットの購入については、「[ヘッドセットの使用](#)」(P.15) を参照してください。

ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。

ただし、ワイヤレス ヘッドセットを使用している場合は、ワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作
ヘッドセット モードのオン/オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを持ち上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存 (Save)] を押します。

自動応答を使用する場合は、「[ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用](#)」(P.69) を参照してください。

ワイヤレス ヘッドセットの使用

Cisco Unified IP Phone 7962G および 7942G はワイヤレス ヘッドセットをサポートしています。ワイヤレス ヘッドセットのリモート機能の使用方法については、ワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参照してください。また、ワイヤレス ヘッドセット リモート フックスイッチ コントロール機能と組み合わせてワイヤレス ヘッドセットを使用することがお使いの電話機で可能かどうかをシステム管理者に確認してください。

ヘッドセットでのワイドバンドの使用

ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります（この設定はデフォルトでは無効になっています）。この設定にアクセスするには、 > [ユーザ設定 (User Preferences)] > [オーディオ設定 (Audio Preferences)] > [ワイドバンドヘッドセット (Wideband Headset)] を選択します。

ワイドバンドヘッドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を変更できません。システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられないことがあります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

スピーカフォンの使用

ハンドセットが受け台にあり、 が点灯していないと仮定すると、番号のダイヤルまたはコールの応答で実行できる多くの操作で、スピーカフォン モードが自動的に切り替わります。

目的	必要な操作
スピーカフォン モードのオン/オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを持ち上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存 (Save)] を押します。

ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用

自動応答が有効である場合、電話機は、2 ～ 3 回の呼出音の後、自動的に着信コールに応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	必要な操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	通話中以外も、ヘッドセット モードを有効（つまり、 が点灯している状態）にしておきます。 ヘッドセット モードを有効にしておくには、次の手順を実行します。 • [終了 (EndCall)] を押して切断します。 • [発信 (New Call)] または [ダイヤル (Dial)] を押して、新規コールを発信します。 電話機がヘッドセット モードで自動応答を使用するように設定されていると、 が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。
スピーカフォンで自動応答を使用する	ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを無効（ が消灯している状態）にしておきます。 その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。

ヒント

自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。

電話機の設定の変更方法

呼出音のトーン、背景イメージ、またはその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone の個人設定を行うことができます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールや新しいボイスメール メッセージの示し方をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調節できます。

目的	必要な操作
回線ごとの呼出音のトーンを変更する	1.  > [ユーザ設定 (User Preferences)] > [呼出音 (Rings)] を選択します。 2. 電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。 3. 呼出音のトーンを選択してそのサンプルを再生します。 4. [選択 (Select)] および [保存 (Save)] を押して、呼出音のトーンを設定します。または、[キャンセル (Cancel)] を押します。
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、 を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。 (注) 呼出音の最低音量が設定されているかどうかをシステム管理者に確認してください。
回線ごとに呼出音のパターン (点滅のみ、一度鳴らす、ビーブ音のみなど) を変更する	1. Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインします (「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」 (P.87) を参照)。 2. 呼出音のパターン設定にアクセスします (「Web での回線設定の制御」 (P.96) を参照)。 (注) ユーザがこの設定にアクセスするには、システム管理者がこのアクセスをユーザに対して有効にしておくことが必要な場合があります。

目的	必要な操作
電話機のオーディオ ボイス メッセージ インジケータを 鳴らす方法を変更する	1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.87) を参照してください。 2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします。「Web での回線設定の制御」(P.96) を参照してください。
ハンドセットにあるボイス メッセージのランプの動作 を変更する	1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.87) を参照してください。 2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします。「Web での回線設定の制御」(P.96) を参照してください。 (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。



ヒント

最大 6 種類の呼出音が鳴るように電話機をカスタマイズできます。また、デフォルトの呼出音を設定することもできます。

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。

目的	必要な操作
電話スクリーンのコントラストを変更する	1.  > [ユーザ設定 (User Preferences)] > [コントラスト (Contrast)] を選択します。 2. 調整するには、[アップ (Up)]、[ダウン (Down)] または  を押します。 3. [保存 (Save)] または [キャンセル (Cancel)] を押します。 (注) 非常に明るいか、または非常に暗いコントラストを間違えて保存し、電話スクリーンの表示が見えなくなった場合は、「電話機のトラブルシューティング」(P.105) を参照してください。
背景イメージを変更する	1.  > [ユーザ設定 (User Preferences)] > [背景イメージ (Background Images)] を選択します。 2. スクロールして利用可能な画像を表示し、[選択 (Select)] を押して画像を選択します。 3. [プレビュー (Preview)] を押して、背景イメージの拡大表示を確認します。 4. [終了 (Exit)] を押して、選択メニューに戻ります。 5. [保存 (Save)] を押して画像を受け入れるか、または [キャンセル (Cancel)] を押します。 (注) 選択した画像が表示されない場合、このオプションはシステムで無効になっています。
スクリーンの言語を変更する	1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.87) を参照してください。 2. ユーザ設定にアクセスします。「Web でのユーザ設定の制御」(P.95) を参照してください。
回線テキスト ラベルを変更する	1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.87) を参照してください。 2. 回線ラベルの設定にアクセスします。「Web での回線設定の制御」(P.96) を参照してください。

履歴およびディレクトリの使用方法

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。どちらの機能にアクセスする場合もディレクトリ ボタン  を使用します。

履歴の使用方法

電話機には、不在コール、発信コール、および着信コールを記録したコール履歴が保持されます。電話機に表示される特定の回線の不在コール ディレクトリに、不在コールを記録するかどうかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作
履歴を表示する	 > [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。それぞれに最大 100 件のレコードを保存できます。
1 つのコール レコードの詳細を表示する	1.  > [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。 2. コール レコードを強調表示します。 3. [詳細 (Details)] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報（発信履歴と着信履歴の場合のみ）が表示されます。
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	 を押してから [クリア (Clear)] を押します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	1.  > [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。 2. コール レコードを強調表示します。 3. [クリア (Clear)] を押します。必要に応じて [次へ (more)] ソフトキーを押して、[クリア (Clear)] を表示します。

目的	必要な操作
1 つのコール レコードを削除する	 > [不在履歴 (Missed Calls)], [発信履歴 (Placed Calls)], または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。 - コール レコードを強調表示します。 [削除 (Delete)] を押します。
履歴からダイヤルする (別のコールに接続していない状態)	 > [不在履歴 (Missed Calls)], [発信履歴 (Placed Calls)], または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。 - コール レコードを強調表示します。  (注) [詳細 (Details)] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティ コールプライマリ エントリです。次の「ヒント」の項を参照してください。 - 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集 (EditDial)] を押します。次に、[<<] または [>>] を押します。番号を削除するには、[編集 (EditDial)] を押した後、[削除 (Delete)] を押します。必要に応じて、[次へ (more)] ソフトキーを押して、[削除 (Delete)] を表示します。 - オフフックにしてコールを発信します。

目的	必要な操作
履歴からダイヤルする（別のコールに接続した状態）	1.  > [不在履歴（Missed Calls）]、[発信履歴（Placed Calls）]、または [着信履歴（Received Calls）] を選択します。 2. コール レコードを強調表示します。  (注) [詳細（Details）] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティ コールのプライマリ エントリです。次の「ヒント」の項を参照してください。 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集（EditDial）] を押します。次に、[<<] または [>>] を押します。 4. 番号を削除するには、[編集（EditDial）] を押した後、[削除（Delete）] を押します。必要に応じて、[次へ（more）] ソフトキーを押して、[削除（Delete）] を表示します。 5. [ダイヤル（Dial）] を押します。 6. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 – [保留（Hold）] : 最初のコールを保留にし、2 番めのコールをダイヤルします。 – [転送（Transfer）] : 最初の通話相手を 2 番めの通話相手に転送し、自分のコールを終了します 操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送（Transfer）] をもう一度押します。 – [会議（Conference）] : 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します 操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議（Confrn）] または [会議（Conference）] をもう一度押します。 – [終了（EndCall）] : 最初のコールを切断し、2 番めのコールをダイヤルします。
履歴内の回線が使用中であるかどうかを、その回線にコールを発信する前に確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。「BLF の使用による回線の状態の確認」(P.57) を参照してください。

目的	必要な操作
履歴の URL エントリからコールを発信する (SIP 電話機のみ)	 > [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。 - ダイヤルする URL エントリを強調表示します。 - エントリを編集する必要がある場合は、[編集 (EditDial)] を押します。  アイコンが表示され、URL エントリの文字の編集を開始できることを示します。 [ダイヤル (Dial)] を押します。
不在履歴および着信履歴から国際コールをリダイヤルする	 > [不在履歴 (Missed Calls)] または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。 - リダイヤルするコール レコードを強調表示します。 [編集 (EditDial)] を押します。 [*] キーを 1 秒以上押したままにして、「+」記号を電話番号の最初の桁として追加します。 + 記号は番号の最初の桁としてしか追加できません。 [ダイヤル (Dial)] を押します。

ヒント

- (SCCP 電話機/SIP 電話機) ご使用の電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コール ディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- (SCCP 電話機だけ) マルチパーティ コール (転送されてきたコールなど) の完全なコール レコードを表示するには、該当のコール レコードを強調表示して、[詳細 (Details)] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに 2 つのエントリが、名前と番号とともに表示されます。
 - 最初のエントリ：直近に完了したマルチパーティ コール
 - 2 番目のエントリ：最初に完了したマルチパーティ コール

ディレクトリ ダイヤリング

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリ機能およびパーソナル ディレクトリ機能をサポートできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナル ディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機および Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられた短縮ダイヤル コードです。パーソナル ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファスト ダイヤルで構成されます。
 - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
 - ファスト ダイヤルは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てるために使用します。

電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	必要な操作
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	 > [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します（名前は異なる場合があります）。 - キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索 (Search)] を押します。 - ダイヤルするには、リスト項目を選択するか、リスト項目までスクロールしてハンドセットを取り上げます。

目的	必要な操作
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続している状態）	1.  > [社内ディレクトリ（Corporate Directory）] を選択します（名前は異なる場合があります）。 2. キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索（Search）] を押します。 3. リストをスクロールして、[ダイヤル（Dial）] を押します。 4. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 － [保留（Hold）]：最初のコールを保留にし、2 番めのコールをダイヤルします。 － [転送（Transfer）]：最初の通話相手を 2 番めの通話相手に転送し、自分のコールを終了します 操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送（Transfer）] をもう一度押します。 － [会議（Conference）]：自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します 操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議（Confn）] または [会議（Conference）] をもう一度押します。 － [終了（EndCall）]：最初のコールを切断し、2 番めのコールをダイヤルします。
ディレクトリ内の電話回線が使用中であるかどうかを確認する	Busy Lamp Field（BLF; ビジー ランプ フィールド）のインジケータを確認します。「 BLF の使用による回線の状態の確認 」（P.57）を参照してください。

ヒント

キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法

パーソナル ディレクトリ機能セットには、Personal Address Book（PAB; 個人アドレス帳）とファスト ダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナル ディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。「[Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法](#)」（P.88）も参照してください。

目的	必要な操作
パーソナル ディレクトリにアクセスする (PABおよびファストダイヤル コードの検索のため)	1.  > [パーソナル ディレクトリ (Personal Directory)] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. Unified CM のユーザ ID と PIN を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
PAB エントリを検索する	1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。 2. 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。 3. [前へ (Previous)] または [次へ (Next)] を選択して、リスト内を移動できます。 4. 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押します。
PAB エントリからダイヤルする	1. リスト項目を検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 3. [ダイヤル (Dial)] を押します。必要に応じて、[次へ (more)] ソフトキーを押して、[ダイヤル (Dial)] を表示します。 4. 参加者の電話番号を入力します。 5. ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。 6. もう一度 [OK] を押して、その番号にダイヤルします。
PAB エントリを削除する	1. リスト項目を検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 3. [削除 (Delete)] を押します。 4. [OK] を選択して、削除することを確認します。
PAB エントリを編集する	1. リスト項目を検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[編集 (Edit)] を押して名前または電子メールアドレスを修正します。 3. 必要に応じて、[電話 (Phones)] を選択して電話番号を修正します。 4. [更新 (Update)] を押します。

目的	必要な操作
新規 PAB エントリを追加する	1. パーソナル ディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。 2. [送信 (Submit)] を選択することで、[検索 (Search)] ページにアクセスします。最初に検索情報を入力する必要はありません。 3. [新規 (New)] を押します。 4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。 5. [電話 (Phones)] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセス コード (9 や 1 など) を必ず含めます。 6. [送信 (Submit)] を選択して、エントリをデータベースに追加します。
PAB エントリにファスト ダイヤル コードを割り当てる	1. PAB エントリを検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 3. [ファスト ダイヤル (Fast Dial)] を押します。 4. ダイヤルする番号を強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 5. 番号に割り当てるファスト ダイヤル コードを強調表示し、[選択 (Select)] を押します。
新規ファスト ダイヤル コードを追加する (PAB エントリを使用しない場合)	1.  > [パーソナル ディレクトリ (Personal Directory)] > [個人ファスト ダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択します。 2. [ファスト ダイヤル (Fast Dial)] を押します。 3. 割り当てられていないファスト ダイヤル コードを強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 4. [割り当て (Assign)] を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新 (Update)] を押します。
ファスト ダイヤル コードを検索する	1.  > [パーソナル ディレクトリ (Personal Directory)] > [個人ファスト ダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択します。 2. [前へ (Previous)] または [次へ (Next)] を選択して、リスト内を移動できます。 3. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押します。
ファスト ダイヤル コードを使用してコールを発信する	1. ファスト ダイヤル コードを検索します。 2. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 3. [ダイヤル (Dial)] を押します。 4. [OK] を選択して、操作を完了します。

目的	必要な操作
ファスト ダイアル コードを削除する	1. ファスト ダイアル コードを検索します。 2. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 3. [削除 (Remove)] を押します。
パーソナル ディレク トリからログアウト する	1.  > [パーソナル ディレクトリ (Personal Directory)] を選択しま す (名前は異なる場合があります)。 2. [ログアウト (Logout)] を選択します。

ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナル ディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- パーソナル ディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- (SCCP 電話機/SIP 電話機) ご使用の電話機に国際コールのログインを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コール ディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  を押します。

お使いの電話機システムが使用するボイスメッセージ サービスは、会社によって決定されます。詳細については、ボイス メッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	 を押し、音声の指示に従います。 スクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。
新しいボイス メッセージの着信を確認する	次を確認します。 • ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」(P.71)を参照してください）。 • メッセージ受信アイコン  の点滅、および電話機スクリーンのテキスト メッセージ。 (注) 赤いランプとメッセージ受信アイコンは、プライマリ回線にメッセージがある場合だけ表示されます。他の回線でボイス メッセージを受信しても、プライマリ回線にメッセージがなければ表示されません。 次の音を確認します。 • コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから聞こえるスタッタ音。 (注) スタッタ音は回線によって異なります。この音はメッセージを受信済みの回線を使用している場合のみ聞こえます。

目的	必要な操作
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージ メニューにアクセスする	 を押します。 このボタンを押すと、メッセージ サービスに自動ダイヤルされるか、またはスクリーンにメニューが表示されます。この動作は、ご使用のボイス メッセージ サービスによって異なります。 ボイスメッセージ サービスに接続すると、ボイス メッセージがある回線がデフォルトで選択されます。複数の回線にボイス メッセージがある場合は、最初の使用可能な回線が選択されます。 毎回プライマリ回線上のボイス メッセージ サービスに接続する場合は、オプションについてシステム管理者にお問い合わせください。
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送 (iDivert)] を押します。詳細については、「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」 (P.39) を参照してください。

ユーザ オプション Web ページの使用

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインできます。このページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、[ユーザ オプション (User Options)] Web ページからスピード ダイアル ボタンを設定できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログイン方法と電話機デバイスの選択方法について説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	1. ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。 2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。 3. セキュリティ設定を受け入れるように求められた場合は、[はい (Yes)] または [証明書のインストール (Install Certificate)] をクリックします。 Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。このページで [ユーザ オプション (User Options)] を選択すると、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファスト ダイアルにアクセスできます。 または、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します (次を参照)。

目的	必要な操作
ログイン後にデバイスを選択する	1. ユーザ オプション Web ページにログインした後に、[ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 [デバイス設定 (Device Configuration)] ページが表示されます。 2. 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス（電話機のモデル、エクステンション モビリティ プロファイル、またはリモート接続先プロファイル）を [名前 (Name)] ドロップダウン メニューから選択します。 (注) [デバイス設定 (Device Configuration)] ページの最上部に表示される ツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。
ログイン後に設定オプションを選択する	1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザ オプション (User Options)] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファスト ダイヤル、およびモビリティ設定にアクセスします。 2. 他のページから [デバイス設定 (Device Configuration)] ページに戻るには、[ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。

Web での機能およびサービスの設定

この項では、ログイン後、ユーザ オプション Web ページから機能およびサービスを設定する方法について説明します。「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」(P.87) を参照してください。

Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

ユーザのコンピュータからアクセス可能なパーソナル ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファスト ダイヤル
- Unified CM Address Book Synchronizer

PAB およびファスト ダイヤルには、電話機からもアクセスできます。「[電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法](#)」(P.80) を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
新規 PAB エントリを追加する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。 2. [新規追加 (Add New)] をクリックします。 3. エントリの情報を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。
回線ボタンを PAB に割り当てる	(注) 回線ボタンを PAB に割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。 1. [ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 2. [サービス URL (Service URL)] をクリックします。 3. [ボタン (Button)] ドロップダウン リスト ボックスで [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] サービスを選択します。 4. ボタンの電話機ラベルを入力し、[保存 (Save)] をクリックします。 5. 電話機の設定を更新するため、[リセット (Reset)] をクリックしてから [リスタート (Restart)] をクリックします。 回線ボタンを押して PAB コードにアクセスできるようになります。
PAB エントリを検索する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。 2. 検索情報を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。
PAB エントリを編集する	1. PAB エントリを検索します。 2. 名前またはニックネームをクリックします。 3. エントリを必要に応じて編集し、[保存 (Save)] をクリックします。
PAB エントリを削除する	1. PAB エントリを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択し、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

Web でのファスト ダイアルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファスト ダイアルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
PAB エントリにファスト ダイアル コードを割り当 てる	1. PAB エントリを作成します。「Web での個人アドレス帳の使用方法 (P.89) を参照してください。 2. [ユーザ オプション (User Options)] > [ファスト ダイアル (Fast Dials)] を選択します。 3. [新規追加 (Add New)] をクリックします。 4. 適切な PAB エントリを検索するには、[検索オプション (Search Options)] 領域を使用します。 5. [検索結果 (Search Results)] 領域で電話番号をクリックします。 6. 必要に応じて、ファスト ダイアル コードを変更し、[保存 (Save)] をクリックします。
ファスト ダイアル コード を電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用し ない場合)	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ファスト ダイアル (Fast Dials)] を選択します。 2. [新規追加 (Add New)] をクリックします。 3. 必要に応じて、ファスト ダイアル コードを変更します。 4. 電話番号を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。
回線ボタンをファスト ダ イヤルに割り当てる	(注) 回線ボタンをファスト ダイアルに割り当てるには、電話機でサー ビスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要が あります。詳細については、システム管理者にお問い合わせくだ さい。 1. [ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選 択します。 2. [サービス URL (Service URL)] をクリックします。 3. [ボタン (Button)] ドロップダウン リスト ボックスで [ファスト ダ イヤル (Fast Dial)] サービスを選択します。 4. ボタンの電話機ラベルを入力し、[保存 (Save)] をクリックします。 5. 電話機の設定を更新するため、[リセット (Reset)] をクリックして から [リスタート (Restart)] をクリックします。 回線ボタンを押してファスト ダイアル コードにアクセスできるようにな ります。

目的	ログイン後に必要な操作
ファスト ダイアル エントリを検索する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ファスト ダイアル (Fast Dials)] を選択します。 2. 検索情報を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。
ファスト ダイアル電話番号を編集する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ファスト ダイアル (Fast Dials)] を選択します。 2. 編集するファスト ダイアル エントリを検索します。 3. エントリのコンポーネントをクリックします。 4. 電話番号を変更し、[保存 (Save)] をクリックします。
ファスト ダイアル エントリを削除する	1. ファスト ダイアルを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択し、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

ヒント

- 最大 500 個のファスト ダイアルおよび PAB のエントリを作成できます。
- PAB エントリを使用しなくても、新規のファスト ダイアル エントリを作成できます。これらのファスト ダイアル エントリには、ユーザ オプション Web ページでは、「raw」というラベルが付付けられます。設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

アドレス帳同期ツールの使用方法

Address Book Synchronization Tool (TABSynch; アドレス帳同期ツール) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を (適切な場合は) PAB と同期できます。それによって、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページで、Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳細な説明を提供できます。

Web でのスピード ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機で、複数のスピード ダイヤル機能をサポートできます。

- スピード ダイヤル ボタン
- 短縮ダイヤル
- ファスト ダイヤル

スピード ダイヤル機能の使用方法については、「[短縮ダイヤル](#)」(P.49) を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
スピード ダイヤル ボタンを設定する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 2. [名前 (Name)] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [スピード ダイヤル (Speed Dials)] をクリックします。 4. 電話機の短縮ダイヤル ボタン (プログラマブル ボタン) の番号とラベルを入力します。 5. [保存 (Save)] をクリックします。 (注) 電話機では ASCII ラベル フィールドが使用されます。
短縮ダイヤルを設定する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 2. [名前 (Name)] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [スピード ダイヤル (Speed Dials)] をクリックします。 4. 短縮コードの番号とラベルを入力します。 5. [保存 (Save)] をクリックします。
ファスト ダイヤルを設定する	「Web でのファスト ダイヤルの設定」(P.90) を参照してください。 ファスト ダイヤルは、電話機からも設定できます。「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法」(P.80) を参照してください。

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特別な電話機機能、ネットワーク データ、および Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話機にアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログイン後に必要な操作
サービスに登録する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 2. [名前 (Name)] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [電話サービス (Phone Services)] をクリックします。 4. [新規追加 (Add New)] をクリックします。 5. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。 6. 可能な場合はサービス ラベルを変更したり追加のサービス情報を入力したりします (オプション)。 7. [保存 (Save)] をクリックします。
サービスを検索する	1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス (Phone Services)] をクリックします。 3. [検索 (Find)] をクリックします。
サービスを変更または解除する	1. サービスを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
サービス名を変更する	1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更し、[保存 (Save)] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
使用可能なプログラマブル電話機ボタン  にサービスを追加する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 2. [名前 (Name)] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [サービス URL (Service URL)] をクリックします。 このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンの設定をシステム管理者に依頼してください。 4. [ボタン サービス (Button Service)] ドロップダウン リストからサービスを選択します。 5. サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。 6. [保存 (Save)] をクリックします。 7. [リセット (Reset)] をクリックして、電話機をリセットします (新しいボタン ラベルを電話機に表示するために必要です)。
電話機からサービスにアクセスする	次のいずれかのボタンを使用してサービスを選択します。 電話機のプログラマブル ボタン：  () > [サービス (Services)] 機能ボタン：  メッセージ  サービス  ディレクトリ 電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定および登録したサービスによって異なります。詳細については、電話機のシステム管理者にお問い合わせください。 設定されているサービスが 1 つだけの場合、そのサービスがデフォルトで開きます。 設定されているサービスが複数の場合、スクリーンのメニューからサービスを選択します。

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードの変更	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。 2. [ブラウザのパスワード (Browser Password)] 領域に情報を入力します。 3. [保存 (Save)] をクリックします。
PIN を変更する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。 2. [電話の PIN (Phone PIN)] 領域に情報を入力します。 3. [保存 (Save)] をクリックします。
ユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。 2. [ユーザ ロケール (User Locale)] 領域で、[ロケール (Locale)] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存 (Save)] をクリックします。
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。 2. [ユーザ ロケール (User Locale)] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存 (Save)] をクリックします。

ヒント

PIN およびパスワードを使用すると、さまざまな機能やサービスにアクセスできます。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Web での回線設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイス メッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。

次のような他の回線の設定値は、電話機で直接設定できます。

- プライマリ電話回線のコール転送を設定する：「別の電話番号へのコールの転送」（P.40）を参照してください。
- 呼出音、表示、およびその他の電話機モデルに固有の設定を変更する：「電話機の設定の変更方法」（P.71）を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとのコール転送を設定する	[ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 [名前 (Name)] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 [回線の設定 (Line Settings)] をクリックします。 - 電話機に複数の電話番号（回線）が割り当てられている場合は、[回線 (Line)] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 [着信コールの転送 (Incoming Call Forwarding)] 領域で、コール転送設定を選択して、さまざまな条件を設定します。 [保存 (Save)] をクリックします。
回線ごとにボイス メッセージのインジケータ（ランプ）の設定を変更する	[ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 [名前 (Name)] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 [回線の設定 (Line Settings)] をクリックします。 - 電話機に複数の電話番号（回線）が割り当てられている場合は、[回線 (Line)] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 [メッセージ受信ランプ (Message Waiting Lamp)] 領域で、さまざまな設定から選択します。 (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定の場合、電話機で受話器のライトストリップのランプが赤色に点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。 [保存 (Save)] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとにオーディオボイス メッセージ インジケータの設定を変更する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 2. [名前 (Name)] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定 (Line Settings)] をクリックします。 4. 電話機に複数の電話番号 (回線) が割り当てられている場合は、[回線 (Line)] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [オーディオメッセージ受信インジケータ (Audible Message Waiting Indicator)] 領域で、さまざまな設定から選択します。 通常、デフォルトのメッセージ受信設定の場合、電話機で受話器のライト ストリップのランプが赤色に点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。 6. [保存 (Save)] をクリックします。
電話スクリーンに表示される回線テキスト ラベルを変更または作成する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 2. [名前 (Name)] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定 (Line Settings)] をクリックします。 4. 電話機に複数の電話番号 (回線) が割り当てられている場合は、[回線 (Line)] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [回線のテキスト ラベル (Line Text Label)] 領域に、テキスト ラベルを入力します。 6. [保存 (Save)] をクリックします。 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。

モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定

シスコ モバイル コネクトを使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールを発信および受信するために使用する携帯電話およびその他の電話機を追加する必要があります。これらの電話機は、リモート接続先と呼ばれます。また、アクセス リストを定義して、特定の番号からのコールを携帯電話に送信することを制限したり許可したりできます。

目的	ログイン後に必要な操作
アクセス リストを作成する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [モビリティの設定 (Mobility Settings)] > [アクセス リスト (Access Lists)] を選択します。 2. [新規追加 (Add New)] をクリックします。 3. アクセス リストを識別する名前と説明 (オプション) を入力します。 4. 指定されたコールをアクセス リストで許可するかブロックするかを選択します。 5. [保存 (Save)] をクリックします。 6. [メンバの追加 (Add Member)] をクリックし、電話番号またはフィルタをリストに追加します。 7. [フィルタ マスク (Filter Mask)] ドロップダウン リストボックスからオプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名の発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。 8. [フィルタ マスク (Filter Mask)] ドロップダウン リストボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク (DN Mask)] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードが使用できます。 X (大文字または小文字) : 数字 1 字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。 ! : 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。 # : 完全一致する数字 1 字として使用します。 9. アクセス リストにこのメンバを追加するには、[保存 (Save)] をクリックします。 10. アクセス リストを保存するには、[保存 (Save)] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
新しいリモート接続先を追加する	1. [ユーザ オプション (User Options)] > [モビリティの設定 (Mobility Settings)] > [リモート接続先 (Remote Destinations)] を選択します。 2. [新規追加 (Add New)] をクリックします。 3. 次の情報を入力します。 – [名前 (Name)] : 携帯電話 (またはその他の電話) の名前を入力します。 – [接続先番号 (Destination Number)] : 携帯電話の番号を入力します。 4. ドロップダウン リストボックスからリモート接続先のプロファイルを選択します。リモート接続先のプロファイルには、作成するリモート接続先に適用する設定が含まれています。 5. [携帯電話 (Mobile Phone)] チェックボックスを選択します。デスクトップの電話機から発信されたコールをリモート接続先で受信できるようになります。 6. [モバイル コネクトの有効化 (Enable Mobile Connect)] チェックボックスを選択します。デスクトップの電話機と同時にリモート接続先でも呼出音が鳴るようになります。 7. [呼び出しスケジュール (Ring Schedule)] 領域で、次のいずれかのオプションを選択します。 – [すべての時間 (All the time)] : リモート接続先の呼び出しについて曜日や時間帯の制限を設けない場合にこのオプションを選択します。 – [以下に指定 (As specified below)] : 曜日や時間帯で呼び出しスケジュールを設定する場合は、このオプションを選択後、次の項目から選択します。 • リモート接続先を呼び出す曜日のチェックボックスをオンにします。 • 曜日ごとに [終日 (All Day)] を選択するか、ドロップダウン リストから開始時間と終了時間を選択します。 • ドロップダウン リストボックスからタイム ゾーンを選択します。 8. 次のいずれかの呼び出しオプションを選択します。 – 常にこの接続先を呼び出す。 – 選択した許可アクセス リストに発信者が含まれる場合にのみ、この接続先を呼び出す。 – 選択したブロック アクセス リストに発信者が含まれる場合、この接続先を呼び出さない。 (注) 呼び出しスケジュールのドロップダウン リスト ボックスには、作成したアクセス リストだけが表示されます。 9. [保存 (Save)] をクリックします。

Cisco WebDialer の使用方法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。システム管理者は、この機能を設定する必要があります。

目的	必要な操作
ユーザ オプションディレクトリで WebDialer を使用する	1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.87) を参照してください。 2. [ユーザ オプション (User Options)] > [ディレクトリ (Directory)] を選択し、同僚を検索します。 3. ダイヤルする番号をクリックします。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、コールの開始ページで初期設定を行い、[ダイヤル (Dial)] をクリックします。これで電話機からコールが発信されます。 今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照してください。 5. コールを終了するには、[コールの終了 (Hangup)] をクリックするか、電話機から切断します。
別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザのユーザ オプションディレクトリではないもの）で WebDialer を使用する	1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、コールの開始ページで初期設定を行い、[ダイヤル (Dial)] をクリックします。これで電話機からコールが発信されます。 今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照してください。 5. コールを終了するには、[コールの終了 (Hangup)] をクリックするか、電話機から切断します。
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。

目的	必要な操作
WebDialer の初期設定を設定、表示、または変更する	[コールの開始 (Make Call)] ページにアクセスします。WebDialer を初めて使用するとき、ダイヤルする番号をクリックした後、このページが表示されます。このページには次のオプションがあります。 • [優先する言語 (Preferred language)] : WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。 • [優先するデバイスを使用する (Use preferred device)] : WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone (発信デバイス) およびディレクトリ番号 (コールに使用する回線) を特定します。 – 1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機と回線 (またはいずれか一方) を選択できます。 – 複数の電話機を使用している場合、デバイスの種類および MAC アドレスで指定します (電話機のホスト名を表示するには、 > [ネットワークの設定 (Network Configuration)] > [ホスト名 (Host Name)] を選択します)。 エクステンション モビリティ プロファイルがある場合は、コールに使用するデバイスのメニューでエクステンション モビリティ ログイン デバイスを選択できます。 • [コールの確認ダイアログを表示しない (Do not display call confirmation)] : 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。

この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ip_t_ipp.shtml

目的または状態	必要な操作	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が 1 本では足りない	1 つ以上の追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
スピードダイヤルボタンが足りない	まず、現在利用可能なスピードダイヤルボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加のスピードダイヤルボタンが必要な場合は、短縮ダイヤル機能の使用またはファストダイヤルサービスへの登録を検討してください。 または、Cisco Unified IP Phone Expansion Module を電話機に接続してください。 (注) Cisco Unified IP Phone 7942G、7941G、および 7941G-GE は、Cisco Unified IP Phone Expansion Module をサポートしていません。	参照先： • 「短縮ダイヤル」(P.49) • 『Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7914 Phone Guide』 • 『Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7915 Phone Guide』 • 『Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7916 Phone Guide』

目的または状態	必要な操作	参照先または問い合わせ先
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である	次の機能の導入を検討してください。 - Unified CM Assistant - 共有回線	参照先： 「共有回線の使用」(P.53) 『Cisco Unified Communications Manager Assistant User Guide』
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で 사용할 ことができます。	「共有回線の使用」(P.53)を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	次の機能の導入を検討してください。 - コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 - コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 - 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 - Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザプロフィールを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できます。	これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。 「応用的なコール処理」(P.49) 「共有回線の使用」(P.53) 「Cisco エクステンション モビリティの使用方 法」(P.63)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	「ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用」(P.69)を参照してください。
ビデオ コールを発信する必要がある (SCCP 電話機のみ)	Cisco Unified Video Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオ カメラを使用してビデオ コールを発信できます。	詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『Cisco Unified Video Advantage Quick Start Guide』および『Cisco Unified Video Advantage User Guide』を参照してください。
電話機のスピードダイヤルボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) を設定するように、管理者に依頼します。	「BLF の使用による回線の状態の確認」(P.57)を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	「Cisco エクステンション モビリティの使用方 法」(P.63)を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、ご使用の Cisco Unified IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の状況の 1 つまたは複数が当てはまります。 • エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。 • 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアント識別コード) または Forced Authorization Code (FAC; 強制承認コード) を入力する必要があります (SCCP 電話のみ)。 • 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっています。
設定ボタンが反応しない	システム管理者が電話機で  を無効にしている可能性があります。
使用したいソフトキーが表示されない	次の状況の 1 つまたは複数が当てはまります。 • その他のソフトキーを表示させるために [次へ (more)] を押す必要があります。 • 回線の状態を変更する必要があります (ハンドセットを持ち上げる、または接続コールにするなど)。 • 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていません。
[割込み (Barge)] が失敗し、速いビジー音が聞こえる	使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。
[割込み (Barge)] を使用して参加したコールが切断される	[割込み (Barge)] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

症状	説明
[折返し (CallBack)] が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。
不在転送を設定しようとすると、電話機にエラー メッセージが表示される	不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、不在転送ループを招く転送先番号が入力された場合、または不在転送チェーンで許可された最大リンク数（最大ホップ カウントとも呼ばれます）を超えることになる転送先番号が入力された場合です。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
電話スクリーンが明るすぎるか暗すぎて文字が読めない	非常に明るいか、または非常に暗いコントラストを誤って保存すると、電話スクリーンの表示が見えなくなることがあります。次の手順を実行してコントラストを調整してください。 Cisco Unified IP Phone 7961G、7961G-GE、7941G、および 7941G-GE の場合： 1.  を選択します。 2. キーパッドで 1、3 を押します。 3. 電話スクリーンの表示が見えるようになるまで  を押します。 4. [保存 (Save)] を押します。 Cisco Unified IP Phone 7962G および 7942G の場合： 1.  を選択します。 2. キーパッドで 1、4 を押します。 3. 電話スクリーンの表示が見えるようになるまで  を押します。 4. [保存 (Save)] を押します。
電話機のスクリーンに空白が表示され、[表示 (Display)] ボタンが点灯する	電話機のスクリーンに空白が表示され、[表示 (Display)] ボタンが点滅します。電話機は、節電のために電源オフ（スリープ中）になっています。電話機は、システムがウェイクアップ メッセージを送信すると電源オン（復帰した状態）になります。スケジュールされた電源オン時間よりも前に電話機を復帰させることはできません。電話機を復帰させるには、電源アダプタを接続します。プラグを抜いてから差し込んでも、スリープ中は電話機は復帰しません。
電話機に [セキュリティ エラー (Security Error)] と表示される	電話機のファームウェアが内部エラーを識別しました。電話機を復帰させるには、電源アダプタを接続します。プラグを抜いてから差し込んでも、スリープ中は電話機は復帰しません。メッセージが引き続き表示される場合は、システム管理者に問い合わせてください。

電話機の管理データの表示

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	必要な操作
ネットワーク構成データにアクセスする	 > [ネットワークの設定 (Network Configuration)] を選択し、表示するネットワーク設定の項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス (Status)] を選択し、表示するステータスの項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [モデル情報 (Model Information)] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 > [ステータス (Status)] > [コール統計 (Call Statistic)] を選択します。
データの送受信に関する VPN パフォーマンス情報にアクセスする	 > [ステータス (Status)] > [ネットワーク統計 (Network Statistics)] を選択します。

品質レポート ツールの使用

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするために、システム管理者により一時的に、電話機に **Quality Reporting Tool (QRT; 品質レポート ツール)** が設定されることがあります。[品質 (QRT)] または [品質レポート ツール (Quality Reporting Tool)] を押して、システム管理者に情報を送信することができます。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声に関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html

Index

A

ASCII ラベル フィールドのサポート [92](#)

B

BLF [22](#)

BLF ピックアップ [23](#), [57](#)

C

Cisco Unified IP Phone

Web ベースのサービス [87](#)

概要 [17](#)

機能設定 [26](#), [103](#)

接続 [13](#)

高さの調節 [15](#)

登録 [15](#)

トラブルシューティング [105](#)

ハンドセット受け台の取り付け [14](#)

Cisco Unified IP Phone Expansion Module [103](#)

Cisco Unified Video Advantage [104](#)

Cisco WebDialer [100](#)

Cisco エクステンション モビリティ [63](#)

E

EM [63](#)

EnergyWise

説明 [28](#)

F

Forced Authorization Code (FAC) [31](#)

G

G ピック [50](#)

M

MLPP、使用 [61](#)

P

PIN、変更 [95](#)

Q

QRT、使用 [107](#)

S

SCCP プロトコルと SIP プロトコルの違い [28](#)

SIP プロトコルと SCCP プロトコルの違い [28](#)

T

TABSynch（アドレス帳同期ツール） [91](#)

TAPS [15](#)

Tool for Auto-Registered Phones Support [15](#)

U

URL からダイヤル、履歴内から [78](#)

W

WebDialer [31](#)

Web ベースのサービス

設定 [87](#)

「ユーザ オプション Web ページ」も参照

あ

アイコン

回線の [22](#)

コールの状態と回線を示す [22](#)

アイドル [23](#)

アクセス リスト [98](#)

アドレス帳同期化ツール（TABSynch） [91](#)

暗号化されたコール [58](#)

安全上の警告 [10](#)

安全なコール [58](#)

い

インターコム

一方向のインターコム コール、アイコン [23](#)

回線のアイドル状態、アイコン [23](#)

双方向のインターコム コール、アイコン [23](#)

発信と受信、コールの [47](#)

インターコム回線 [23](#)

え

エクステンション モビリティ [63](#)

お

応答、コールへの [33](#)

オーディオに関する問題 [107](#)

折返し [31](#)

音声、品質 [16](#)

オンフック ダイヤル [30](#)

オンライン ヘルプ、使用 [26](#)

音量、電話機の呼出音 [71](#)

音量ボタン [21](#)

か

会議コール

種類 [43](#)

セキュリティと参加者の表示および削除 [46](#)

ミーティング [45](#)

回線

BLF の使用 [57](#)

アイコンとコールの状態 [22](#)

共有 [53](#)

コール転送 [40, 96](#)

サポートされるコールの説明および数 [22](#)

テキスト ラベル [96](#)

表示 [23](#)

ボイス メッセージ インジケータの設定 [96](#)

ボタン [20](#)

呼出音 [71](#)

呼出音のパターン [96](#)

き

キーパッド [21](#)

機能、アベイラビリティ [103](#)

機能、電話機で使用可能な [26](#)

機能ボタン

サービス [21](#)

設定 [21](#)

ディレクトリ [20](#)

ヘルプ [21](#)

メッセージ [20](#)

機能メニューおよびボタン [25](#)

共有回線

およびリモートで使用中のアイコン [54](#)

説明 [53](#)

プライバシーの使用 [56](#)

割り込みの使用 [54](#)

切り替え、コールの [65](#)

切り替え、複数のコール間 [36](#)

く

クライアント マター コード (CMC) [31](#)

グリーンティング [34](#)

クリーニング [25](#)

グループのコール ピックアップ [50](#)

け

警告、安全 [10](#)

言語（ロケール）設定 [95](#)

こ

コール

アイコン [22](#)

アクティビティ領域 [23, 24](#)

安全 [58](#)

応答 [33](#)

会議機能 [43](#)

回線との違い [22](#)

概要モード [38](#)

終了 [34](#)

転送 [38, 40, 96](#)

パーク [52](#)

発信 [29](#)

表示 [23](#)

複数の参加者 [43](#)

ブロック（サイレントの使用） [41](#)

保存と取得 [52](#)

保留と復帰 [35](#)

ミュート [36](#)

問題のレポート [107](#)

優先順位付け [61](#)

呼び出し中のリダイレクト [50](#)

履歴

使用、履歴からのダイヤル、削除 [75](#)

履歴内の URL エントリからのダイヤル [78](#)

割り込み [54](#)

コール処理

応用的 [49](#)

基本 **29**

コール待機 **33**

コール転送

Web ページからの設定 **96**

電話機での設定 **40**

コール ピックアップ **50**

国際コールのログイン **30, 78, 83**

個人アドレス帳 (PAB)

Web ページでの使用 **89**

使用、電話機で **80**

さ

サービス、登録 **93**

サービス ボタン **21**

サイレント (DND) **41**

し

自動応答 **69**

自動ダイヤル **30**

社内ディレクトリ

Web ページからの使用 **31**

電話機での使用 **30**

終了、コール、オプション **34**

詳細ソフトキー、マルチパーティ コールの表示
76, 77, 78

省電力 **28**

説明 **28**

トラブルシューティング **105**

使用、電話機で **80**

す

ステータス行、表示 **23**

ステータス データへのアクセス **105**

スピーカ

ボタン **21**

スピーカフォン

応答、コールへの **33**

使用 **67**

切断 **34**

発信、コールの **29**

スピード ダイヤル

BLF の使用 **49**

設定 **92**

ラベル **23, 92**

せ

セッション ハンドオフ **36**

切断のオプション **34**

設置、Cisco Unified IP Phone **13**

設定ボタン **21**

そ

ソフトキー ボタン

説明 **21**

ラベル **23**

た

ダイヤルのオプション **29**

ダイレクト コール パーク **52**

タブ、電話スクリーン上の **23**

短縮ダイヤル [49, 92](#)

使用 [30](#)

ち

着信履歴のレコード [75](#)

て

ディレクトリ

Web ページからの使用 [31](#)

社内 [79](#)

電話機での使用 [30](#)

パーソナル [79](#)

ボタン [20](#)

デバイス設定ページ [88](#)

転送、コールの、オプション [40](#)

転送、コールのボイス メッセージ システムへの
[39](#)

転送のオプション [38](#)

電話回線

サポートされるコールの説明および数 [22](#)

表示 [23](#)

ボタン [20](#)

電話機サービス

設定 [88](#)

「ユーザ オプション Web ページ」も参照 [88](#)

電話スクリーン

クリーニング [25](#)

言語の変更 [73](#)

コントラストの調節 [73](#)

図および機能 [23](#)

と

登録、電話機サービスの [93](#)

トラブルシューティング [105](#)

な

ナビゲーション ボタン [21](#)

に

認証されたコール [58](#)

ね

ネットワーク構成データへのアクセス [105](#)

は

パーク取得プレフィクス [52](#)

パーソナル ディレクトリ (PD) [80](#)

Web ページでの使用 [88](#)

パスワード、変更 [95](#)

発信、コールの

オプション [29](#)

発信者 ID [24](#)

発信履歴のレコード [75](#)

ハント グループ、ログアウト [53](#)

ハンドセット

受け台への取り付け [14](#)

使用 [67](#)

ライト ストリップ [21](#)

ひ

ビジー ランプ フィールド (BLF) [57](#)

品質レポート ツール [107](#)

ふ

ファスト ダイヤル

Web ページからの設定 [90](#)

ダイヤル [82](#)

不在履歴のレコード [75](#)

不審なコール、トレース [61](#)

復帰、使用 [35](#)

フックスイッチ クリップ、取り外し [14](#)

フットスタンド

調節 [15](#)

ボタン [20](#)

プライバシー

および共有回線 [54](#)

使用 [56](#)

プレダイヤル (オンフックでのダイヤル) [30](#)

プログラマブル ボタン

説明 [20](#)

ラベル [23](#)

へ

ヘッドセット

応答、コールへの [33](#)

使用 [67](#)

切断 [34](#)

発信、コールの [29](#)

ボタン [21](#)

ヘッドセットのパフォーマンス、全般 [15](#)

ヘルプ、使用 [26](#)

ヘルプ ボタン [21](#)

ほ

ボイス メッセージ インジケータ [85](#)

設定の変更 [96](#)

説明 [85](#)

ボイス メッセージ サービス [85](#)

他 Grp [51](#)

他のコール ピックアップ、使用方法 [51](#)

保留

および転送 [38](#)

使用 [35](#)

保留復帰機能、コールの復帰 [35](#)

ま

マルチパーティ コール

詳細の表示 [76, 77, 78](#)

履歴からの特定 [76, 77](#)

み

ミーティング ミー会議 [45](#)

ミュート、使用 [36](#)

ミュート ボタン [21](#)

め

迷惑呼 [61](#)

迷惑呼 ID [61](#)

メッセージ

インジケータ [72, 85](#)

聞く [85](#)

メッセージ ボタン [20](#)

メニュー、使用方法 [25](#)

も

モバイル コネクト

アクセス リストの設定 [98](#)

有効化 [99](#)

リモート接続先へのアクセス [66](#)

モバイル ボイス アクセス [64](#)

ゆ

ユーザ オプション Web ページ

アクセス [87](#)

機能およびサービスの設定 [88](#)

電話機サービスの登録 [93](#)

優先順位付け、コールの [61](#)

よ

呼出音

インジケータ [21](#)

音量 [71](#)

カスタマイズ [71](#)

呼出音のパターン、変更 [96](#)

呼出音、変更 [71](#)

呼び出しスケジュール、リモート接続先の [99](#)

り

リダイヤル [29](#)

リモート接続先 [65](#)

アクセスの無効化 [66](#)

作成 [99](#)

呼び出しスケジュール [99](#)

リモートで使用中のアイコン、共有回線の [54](#)

ろ

ログアウト、ハント グループからの [53](#)

わ

ワイドバンド、ヘッドセット [68](#)

割り込み

および共有回線 [54](#)

およびプライバシー [56](#)

使用 [54](#)

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。
各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

© 2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Copyright © 2011, シスコシステムズ合同会社。 All rights reserved.



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS 含む）

電話受付時間：平日 10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

OL-22333-01-J